

MagicPatrol Ver1.1

インストールガイド



作成者	マジックソフトウェア・ジャパン株式会社
作成日	2018年11月27日
最終更新日	2018年11月27日
版数	第1.0版

目次

目次

第1章 インストールと環境設定.....	2
1-1 前提条件.....	2
1-2 データベースの作成.....	3
1-3 パトロールのインストール.....	4
1-4 License.dat ファイルのコピー.....	10
1-5 Broker の再起動.....	11
第2章 リッチクライアントビルダー.....	12
第3章 MagicPatrol の起動.....	16
第4章 対象アプリケーションのインストール方法.....	18
4-1 PT2a のパッチを適応.....	18
4-2 メモリモジュールのコピー.....	18
4-3 Microsoft Visual C++のインストール.....	19
4-4 MHLOG3.INI の設定.....	20
第5章 付録.....	21
5-1 IIS のインストール.....	21
5-1-1 インストール.....	21
5-1-2 サーバー マネージャーの確認.....	31
5-1-3 IIS の確認.....	32
5-2 SQLServer 2017 expres のインストール.....	33
5-2-1 SQL Server Express のダウンロード.....	33
5-2-2 SQL Server Express のインストール.....	34
5-2-3 SSMS(SQLServer Management Studio)のダウンロード.....	39
5-2-4 SSMS(SQLServer Management Studio)のインストール.....	41
5-3 環境設定ファイル MagicPatrol.ini のご説明.....	44

第1章 インストールと環境設定

1-1 前提条件

本システムを実行するためには、以下の環境が整っていることが前提条件になります。

・「Web サーバ(IIS:Internet Information Service)」(必須)

MagicPatrol を実行するために以下の機能が有効にされている必要があります。
コントロールパネル⇒プログラムと機能⇒Windows 機能の有効化または無効化で以下の設定をご確認ください。

Web 管理ツール

- ・ IIS 管理コンソール
- ・ IIS6 管理互換(全チェック)

World Wide Web サービス

- ・ HTTP 共通機能
 - 既定のドキュメント
 - 静的コンテンツ
 - ・ アプリケーション開発機能(全チェック)
 - .NET 拡張機能
 - ASP .NET
 - ISAPI フィルタ
 - ISAPI 拡張機能
 - ・ セキュリティ
 - 要求のフィルタリング
- ※セキュリティポリシーに応じて不要なチェックオプションの見直しをしてください。
詳細は、「5-1 IIS のインストール」を参考にしてください。

Windows ファイアウォール

Windows ファイアウォールが有効な場合、「World Wide Web サービス(HTTP)」を有効にするように設定します。

・「データベースエンジン」(必須)

- ・MS-SQL Server …… 2008、2008R2、2012、2014、2016、2017
- 詳細は「5-2 SQLServer 2017 express のインストール」を参考にしてください。

・「Microsoft .NET Framework Ver4.0 以上」(必須)

・「ライセンス発行申請」(必須)

ライセンス発行申請を行い、ライセンスファイル(ライセンスコード)を取得する必要があります。

- ・MagicPatrol ライセンス(※シリアル番号)
- ・Magic xpa RIA Server ライセンス
- ・Magic xpa Enterprise Server ライセンス

※シリアル番号は、「MagicPatrol 使用許諾契約書」に記載されています。

詳細は、小冊子「はじめにお読みください」を参照してください。

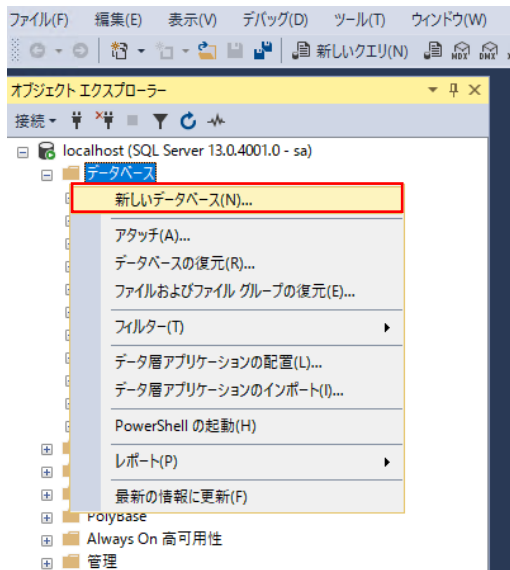
・「SMTP サーバー」(必須)

メール機能を利用する場合、SMTP サーバーが別途必要になります。

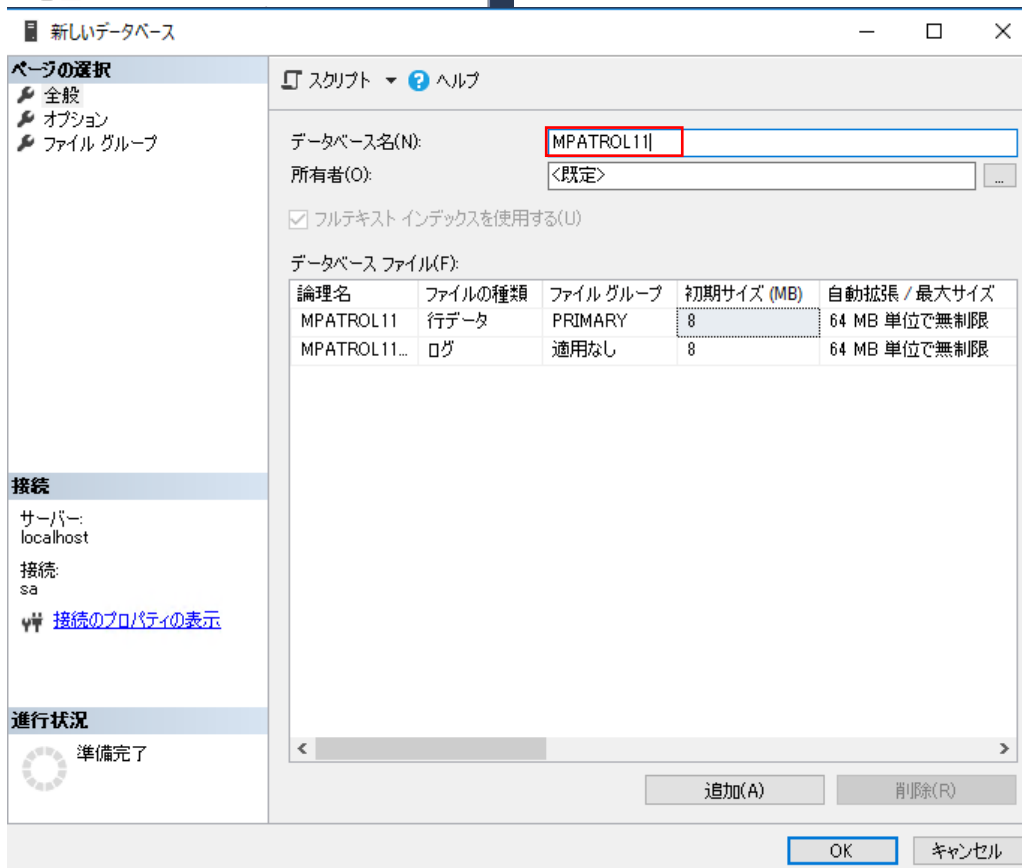
※セキュア接続を使用しないため、セキュアな接続(例えば TLS または SSL)を必要とするメールサーバはサポートされません。

1-2 データベースの作成

(1) SQL Server の管理ツール(SQL Server Management Studio 等)を使って、SQL Server 側にデータベースを作成します。



画面左側の「データベース」上で右クリックし、「新しいデータベース」を実行します。その後の画面で、「データベース名」を入力して「OK」ボタンを押すと、データベースが作成できます。



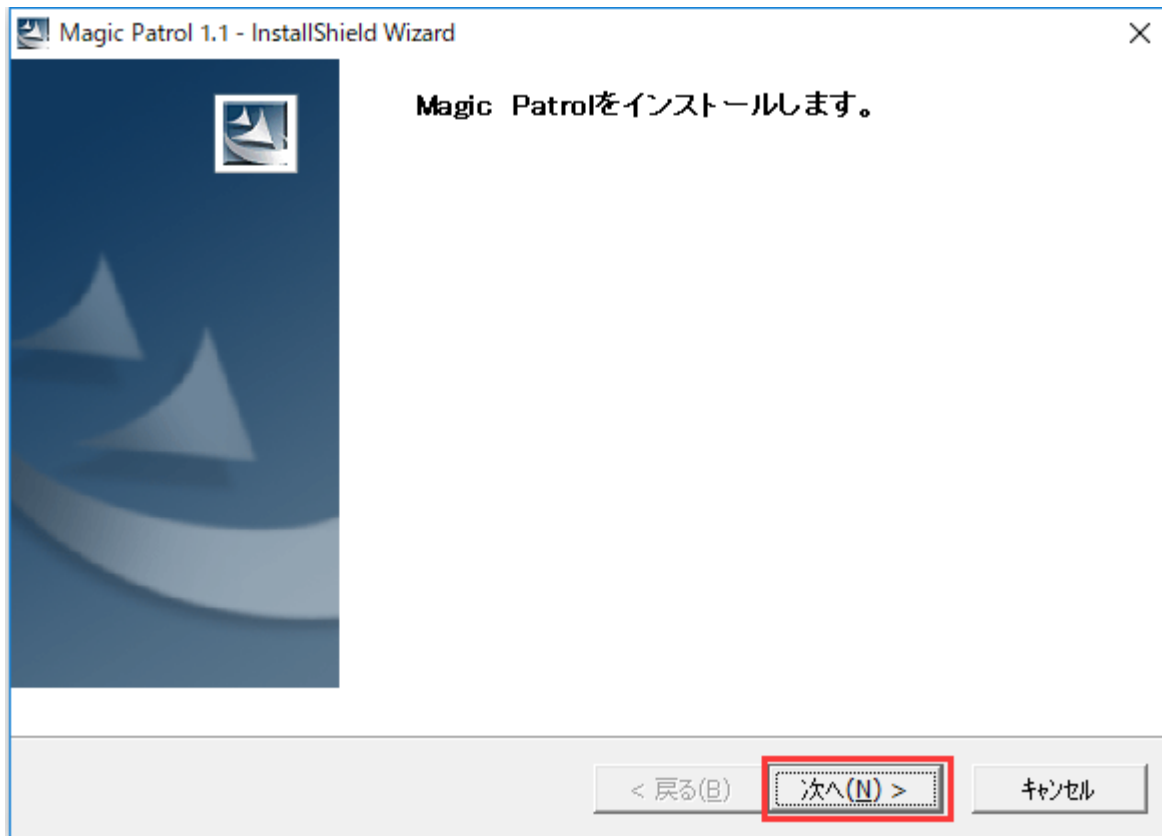
<作成するデータベースの名前>

MPATROL11

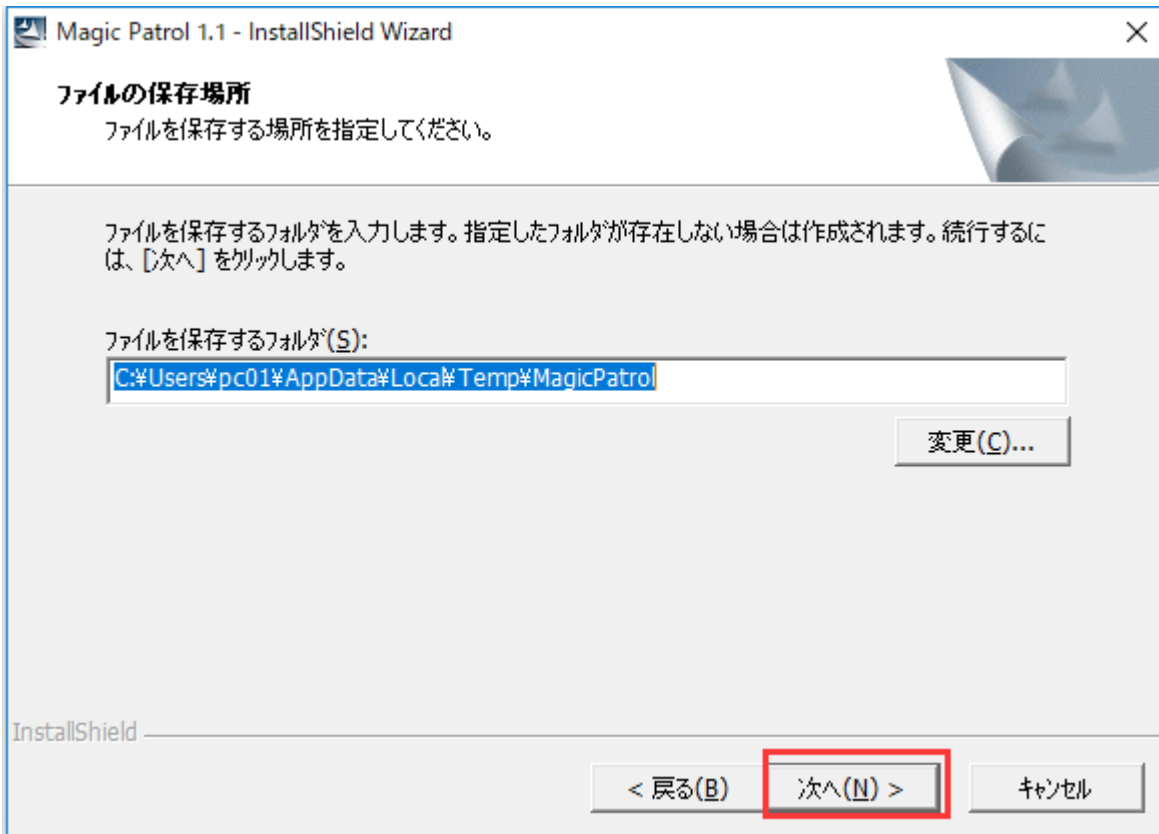
1-3 パトロールのインストール

MagicPatrol11_Readme.txt の内容を確認して、インストーラーの MagicPatrol11.exe をダブルクリックして、インストーラーを起動します。

名前	種類
MagicPatrol11.exe	アプリケーション
MagicPatrol11_Readme.txt	テキスト文書

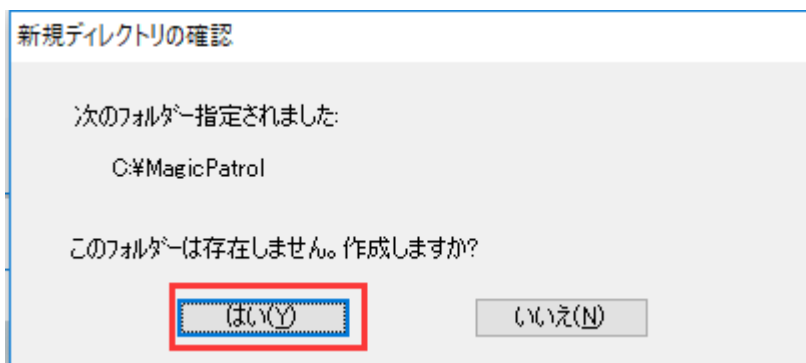
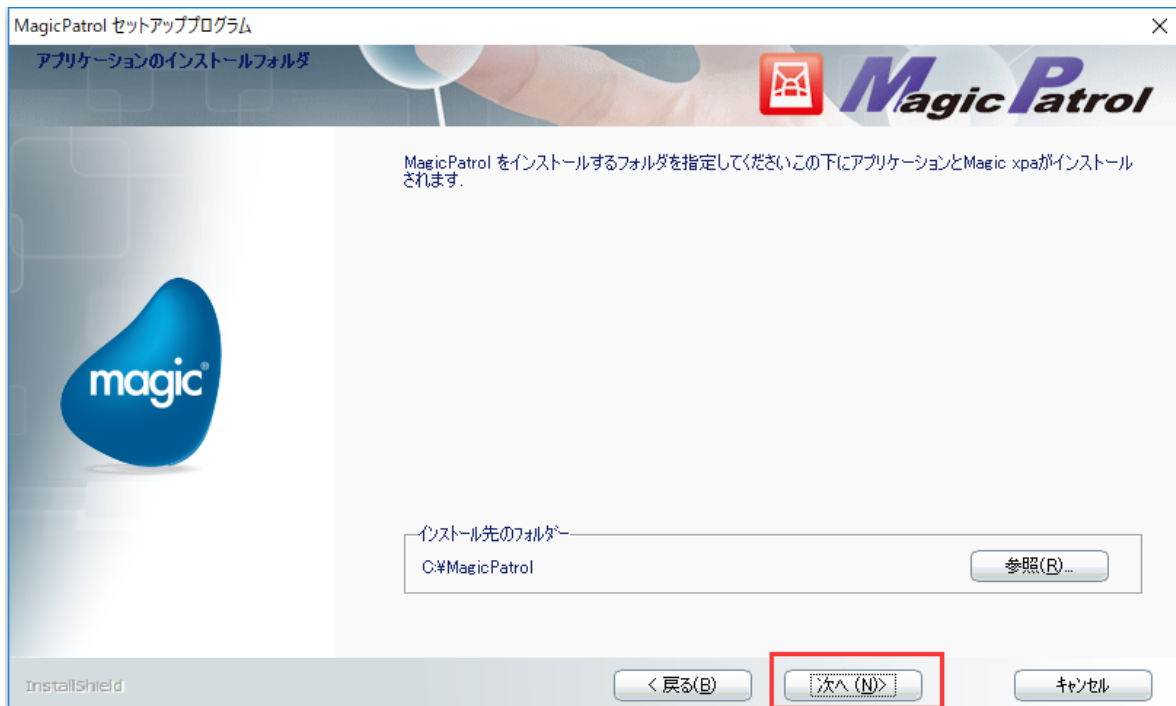
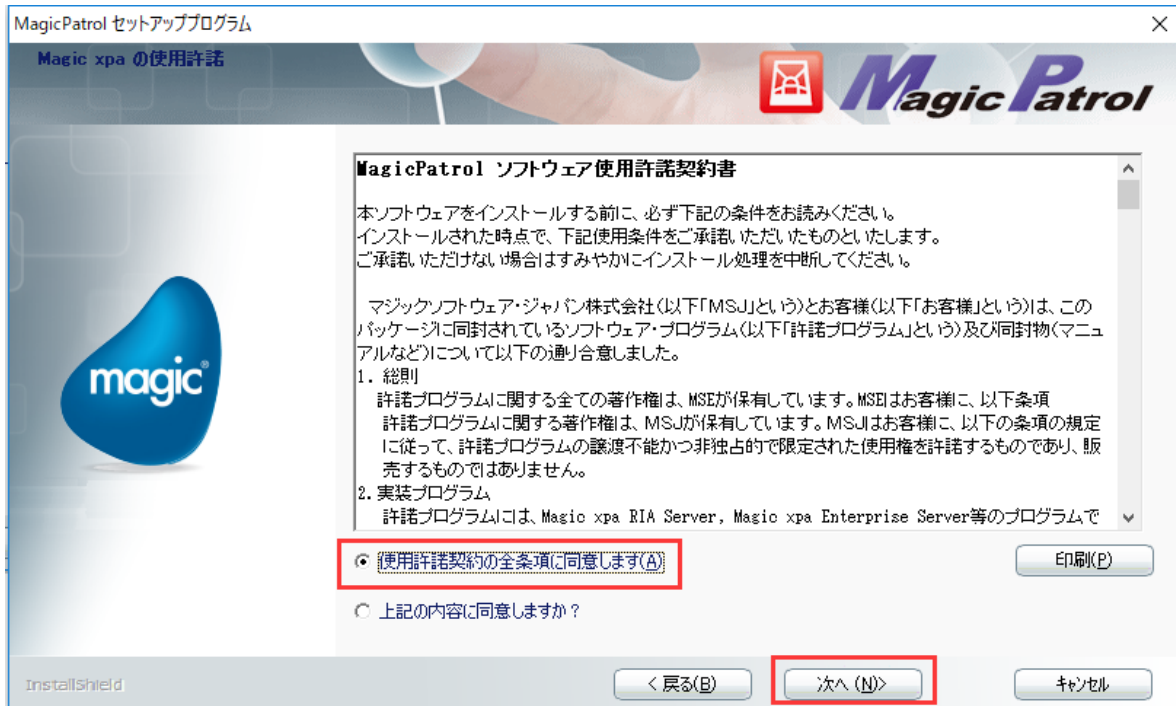


インストールファイルの解凍先を指定して下さい。



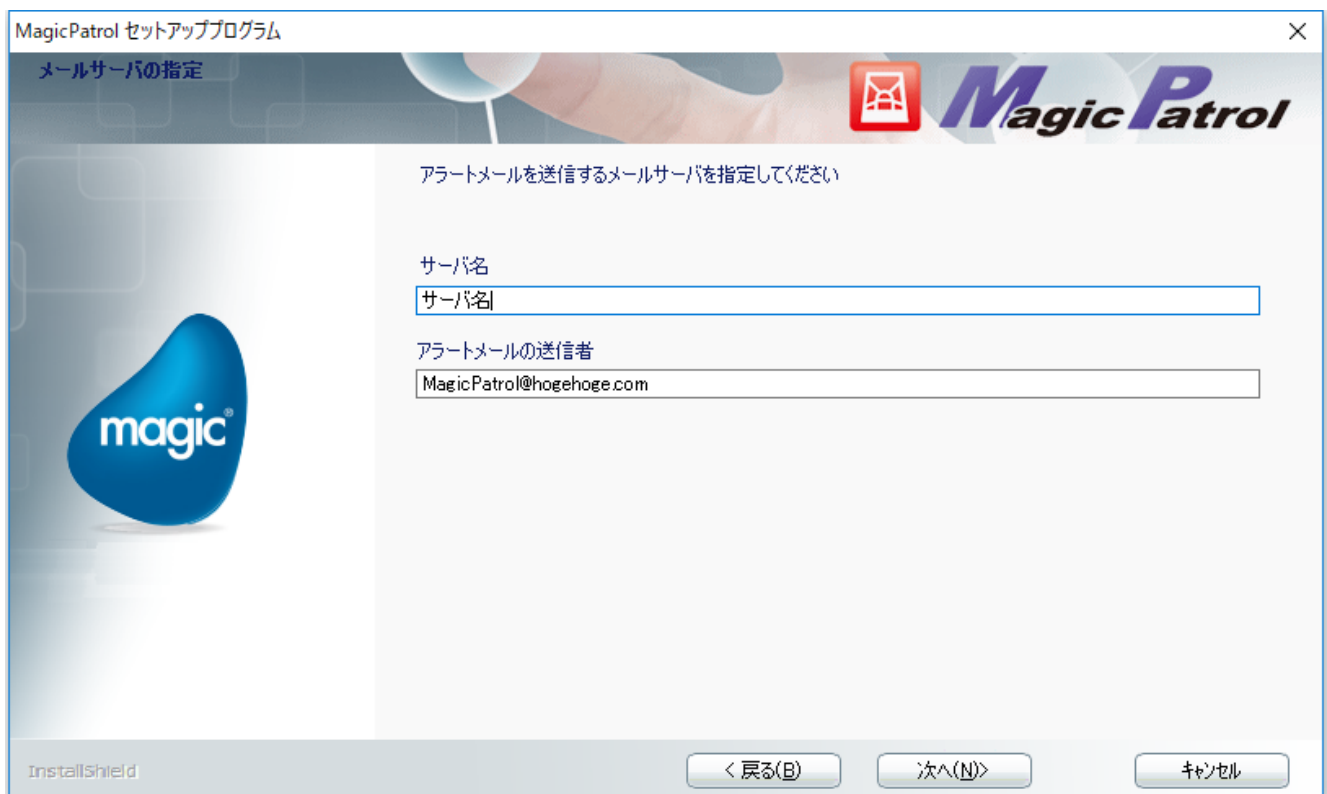
インストールガイド画面が表示されます。







「MagicPatrol 使用許諾契約書」に記載されているシリアル番号を入力してください。



MagicPatrol セットアッププログラム

メールサーバのアカウント指定

メールサーバへのアカウントを指定してください

サーバへのユーザID

パスワード

magic

InstallShield

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

MagicPatrol セットアッププログラム

管理者の設定
アプリケーションを実行するには、データベースに関する詳細が必要です。

アプリケーションを実行するには、データベースに関する詳細が必要です。

データベース名とデータベースサーバを指定してください。

データベース名 MPATROL11	データベースサーバ データベースサーバ
データベースタイプ MSSQL	データベース名 MPATROL11

アプリケーションのユーザ名とパスワードを指定してください。

ユーザID:
sa

パスワード:
●●●●●●●●

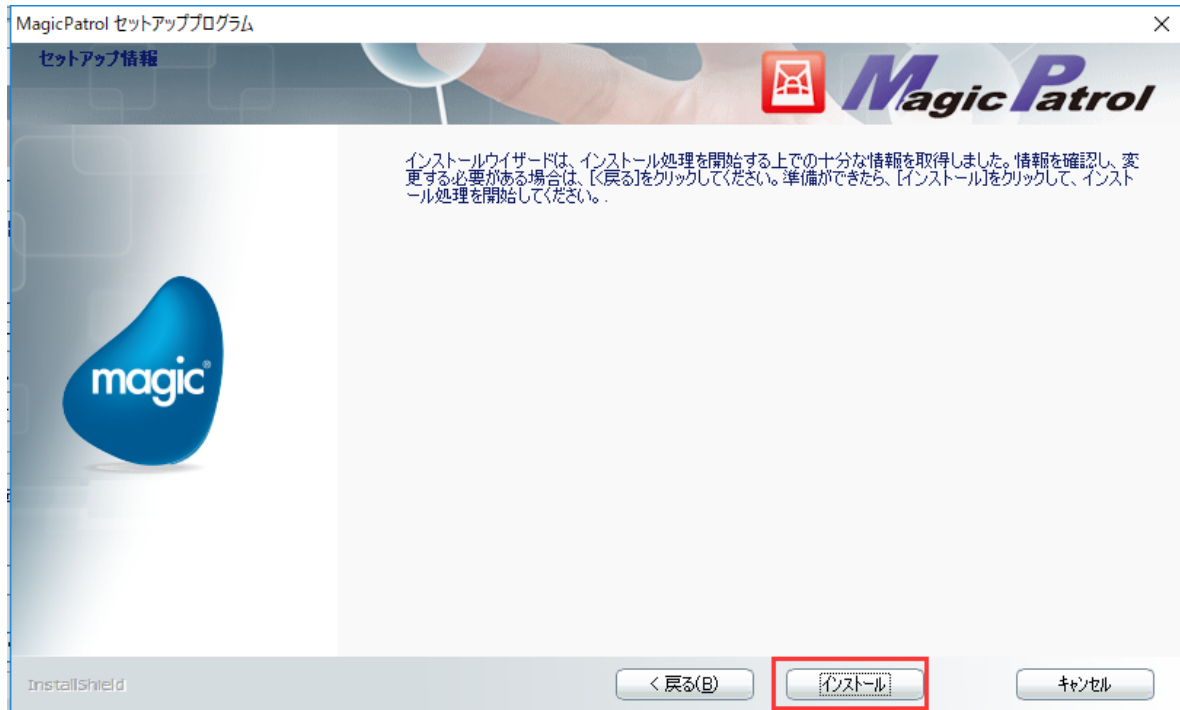
magic

InstallShield

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

データベースサーバは MSSQL のサーバー名を指定して下さい。

ユーザ ID、パスワードは MSSQL への接続用のユーザ ID とパスワードを指定して下さい。

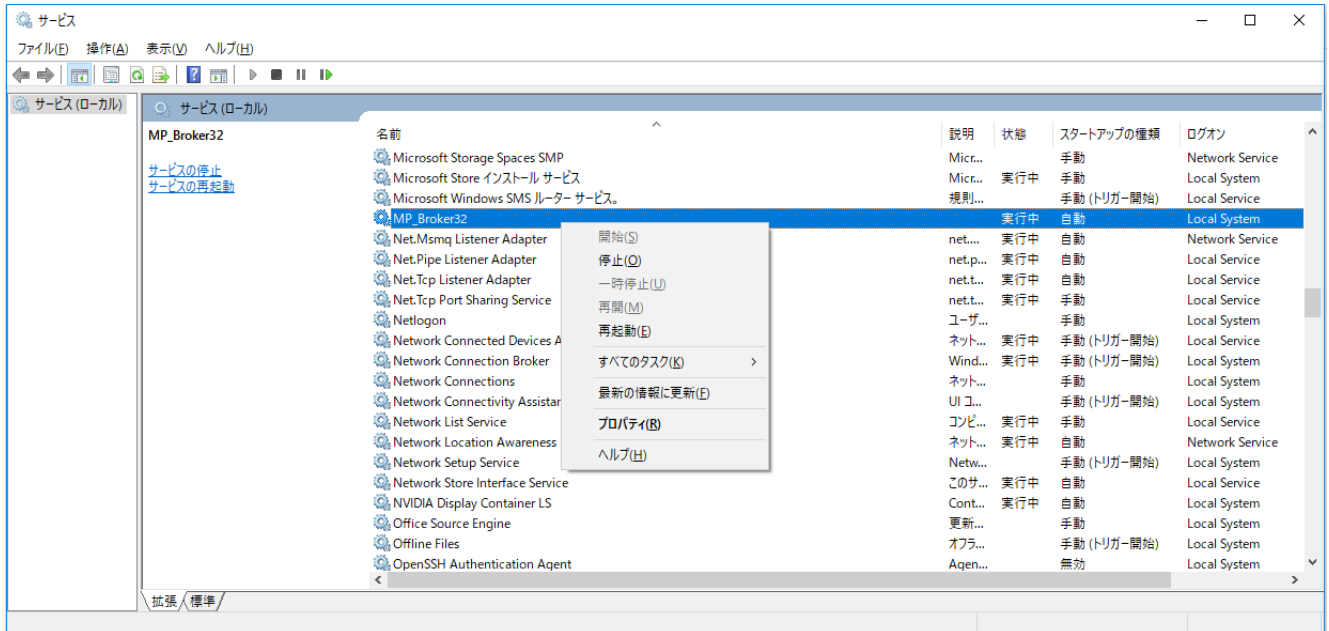


1-4 License.dat ファイルのコピー

[MagicPatrol インストールフォルダ]¥ RIA Server 3.2 のフォルダに申請しで取得したライセンスファイルをコピーしてください。
例:「C:¥MagicPatrol¥RIA Server 3.2」

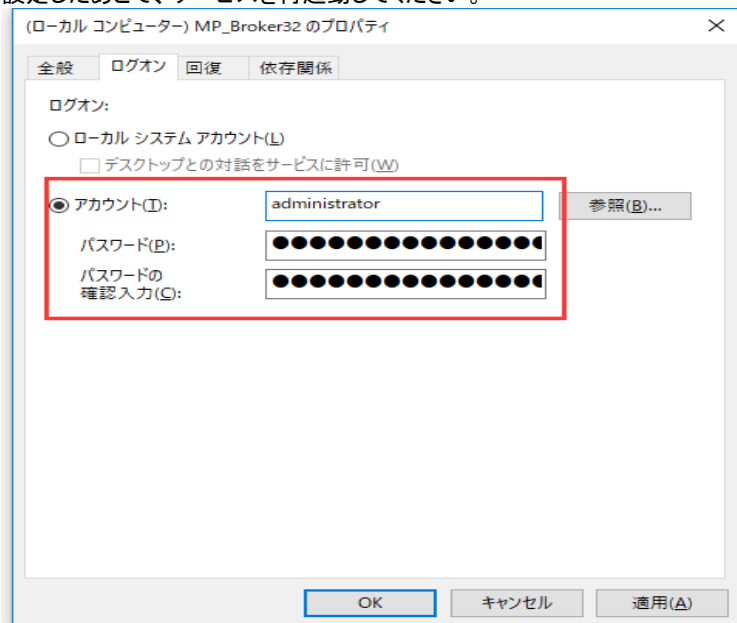
1-5 Broker の再起動

Windows のサービス「MP_Broker32」を再起動してください。



※Windows サービスの MP_Broker32 のログオンユーザーを Administrator 権限ユーザーに設定して下さい。
このログオンユーザーで MagicPatrol はログファイルの監視・取得を実行します。
その為、このログオンユーザーにログ監視対象フォルダへのアクセス権限(フルコントロール)を与えてください。

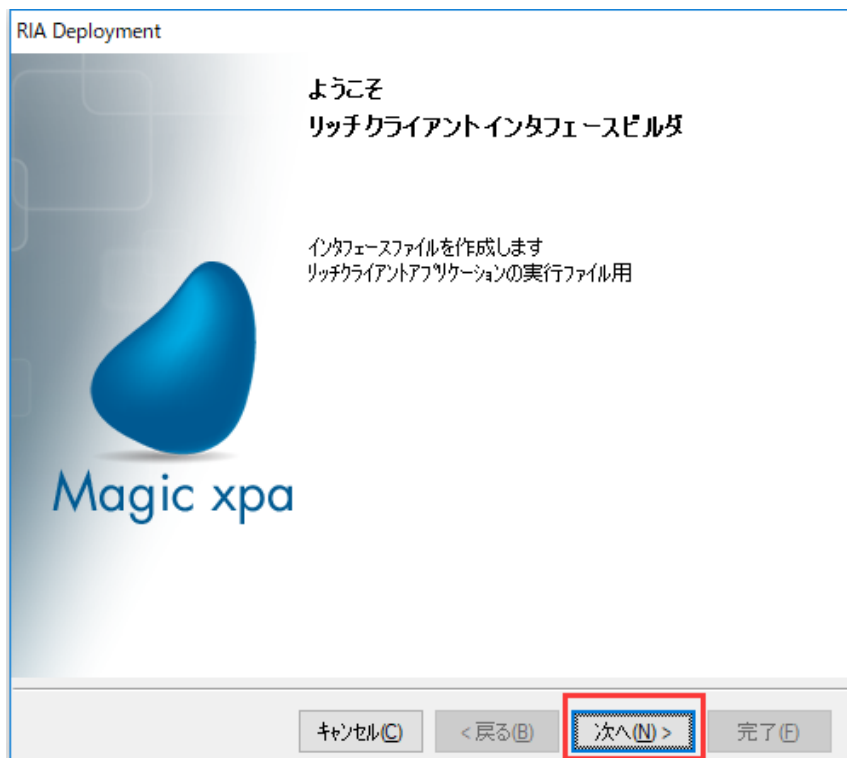
サービスで右クリックしてプロパティを開いて、ログオンタブでアカウントとパスワードを設定します。
設定したあとで、サービスを再起動してください。



第2章 リッチクライアントビルダー

リッチクライアントビルダーを実行します。

[Windows スタート] - [すべてのプログラム] - [MagicPatrol] - リッチクライアントビルダー] を選択します。



RIA Deployment

アプリケーションの設定

ここではインストール情報を設定することができます。

アプリケーション情報

アプリケーションタイトル	<input type="text" value="MagicPatrol11"/>
アプリケーションの説明	<input type="text"/>
発行元の名前	<input type="text" value="MagicPatrol"/>
コピーライト	<input type="text"/>
バージョン番号	<input type="text" value="1"/>
バージョン名	<input type="text" value="1.0"/>

RIA Deployment

サーバ情報

ここではサーバ情報を設定することができます。

公開Webサーバの設定

サーバ名	<input type="text" value="サーバ名またはIPアドレス"/>
ドキュメントエイリアス名	<input type="text" value="MP32RIAApplications"/>
公開アプリケーション用エイリアス名	<input type="text" value="MP32RIAApplications/MagicPatrol11"/>

アプリケーション用Webサーバの設定

サーバ名	<input type="text" value="サーバ名またはIPアドレス"/>
インターネットリクエスト	<input type="text" value="/MP32Scripts/MGrqispi.dll"/>

セキュアプロトコル(https)の使用

RIA Deployment

実行コマンド

ここでは実行するプログラムを設定することができます。

アプリケーション名

アプリケーション名: MagicPatrol11

開始プログラム名: Start

環境変数:

実行コマンド

外部の設定ファイルを参照:

外部設定ファイル名: MagicPatrol11.txt

注: モバイルデバイス上で実行する場合、開始プログラム名が必要となります。WindowsのRIAで実行し、メインプログラムで「ウィンドウを開く」特性が「Yes」に定義されており、「ウィンドウタイプ」特性が「MDI フレーム」に設定されている場合は、開始プログラムは必要ありません。

キャンセル(C) < 戻る(B) **次へ(N) >** 終了(F)

RIA Deployment

実行環境の設定

ここでは環境パスを設定することができます。

実行ファイル

作成する実行ファイル

Windows用

Android用

iOS用

作成フォルダ: rol\RIA Server 3.2\PublishedApplications\MagicPatrol11


キャンセル(C) < 戻る(B) **次へ(N) >** 終了(F)

RIA Deployment

Windows用の設定


ここで、Windows用の設定を行うことができます。

インストール手順


アプリケーションアイコン 

アプリケーションのインストールとショートカット作成

スタートアップ画面のカスタマイズ

スプラッシュイメージファイル 

認証

証明書 

証明書のパスワード

RIA Deployment

概要

必要なファイルが以下のフォルダに作成されました:
C:\MagicPatrol\RIA Server 3.2\PublishedApplications\MagicPatrol11

次のエイリアスで公開されます: "MP32RIAApplications/MagicPatrol11".

実行時のリンク先:
ユーザは、以下のURLからアプリケーションにアクセスできます。
・Windows : http://サーバ名またはIPアドレス/MP32RIAApplications/MagicPatrol11/WinDesktop/MagicPatrol11.publish.html

注意: Magicエンジンをアップグレードした場合は、必ずマニフェストファイルも作成し直してください。
詳細は、リッチクライアントのドキュメントを参照してください。

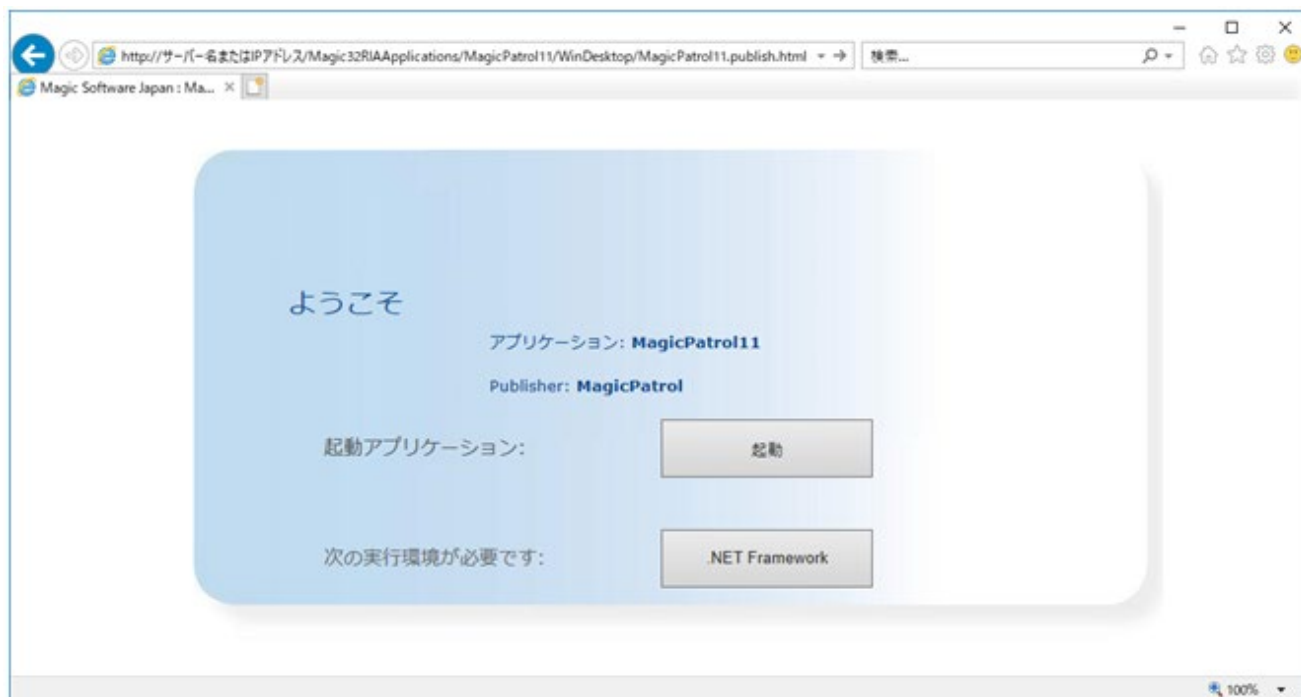
※閉じる前に、画面の `http://...` の内容をコピーしてください。

第3章 MagicPatrol の起動

そして、クライアント側でブラウザ(IE)を起動し、URL 欄に

http://サーバー名または IP アドレス/MP32RIAApplications/MagicPatrol11/WinDesktop/MagicPatrol11.publish.html

と入力すると下のような画面が表示されます。

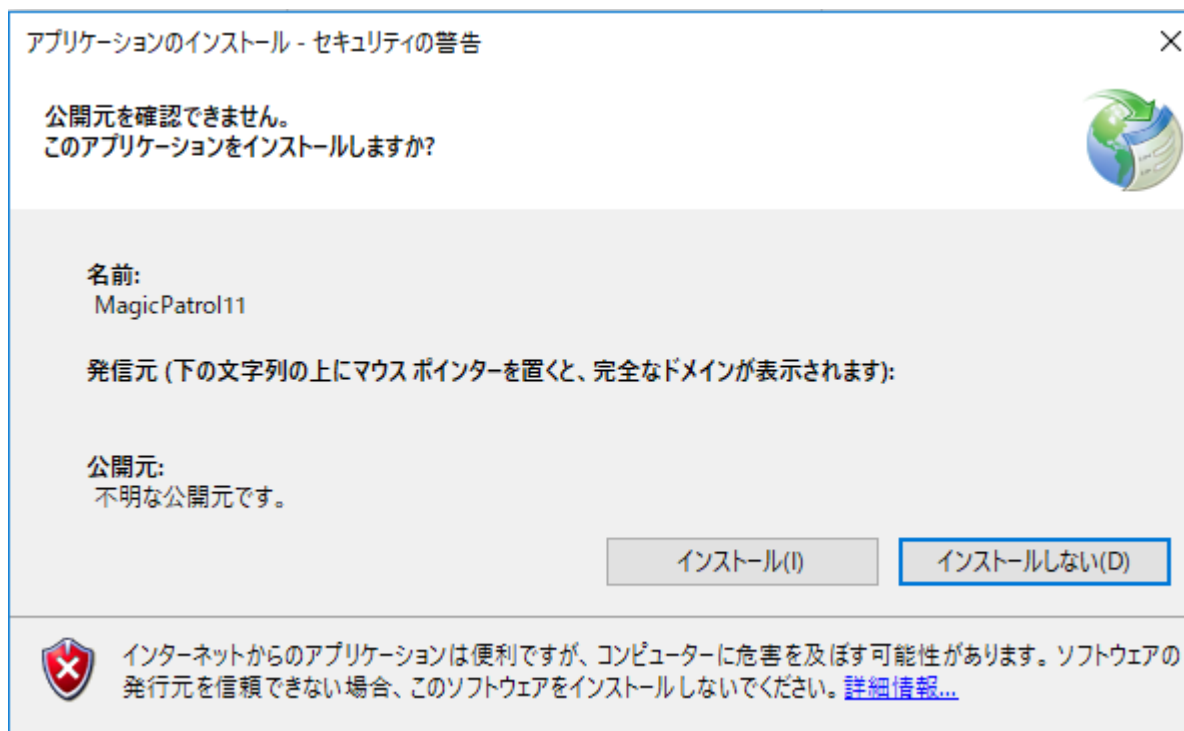


【.NetFramework4.0】

クライアント側に .NetFramework4.0 以上がインストールされている必要があります。

【起動】

その後、「起動」ボタンをクリックすると下のような画面が表示されます。



「インストール」ボタンをクリックすると、「MagicPatrol」システムがクライアント側にインストールされ MagicPatrol が起動されます。

※MagicPatrol 操作については、別紙「【MagicPatrol】操作説明書」を参照ください。



※次回の起動は IE を経由しなくて[Windows スタート] - [すべてのプログラム] - [MagicPatrol] - MagicPatrol11] を選択します。

第4章 対象アプリケーションのインストール方法

4-1 PT2a のパッチを適応

Magic xpa 3.2c パッチモジュール 2a(PT2a)が別途ダウンロードして、適用してください。
※Magic xpa 3.3b 以降の場合は適応不要です。

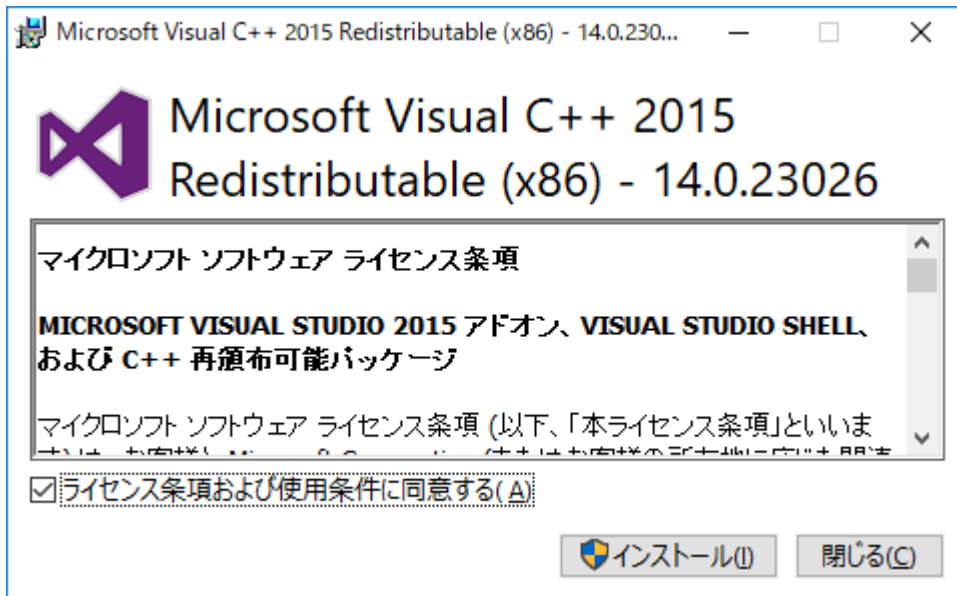
4-2 メモリモジュールのコピー

MagicPatrol インストールフォルダ¥Mhlog 内にあるメモリモジュールをログ監視対象アプリケーションで使用している Magic XPA のインストールフォルダにコピーしてください。

- Gateways フォルダ
- MHLog3.dll
- MHLog3.ini

4-3 Microsoft Visual C++のインストール

Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージ「vc_redist.x86.exe」をインストールしてください。



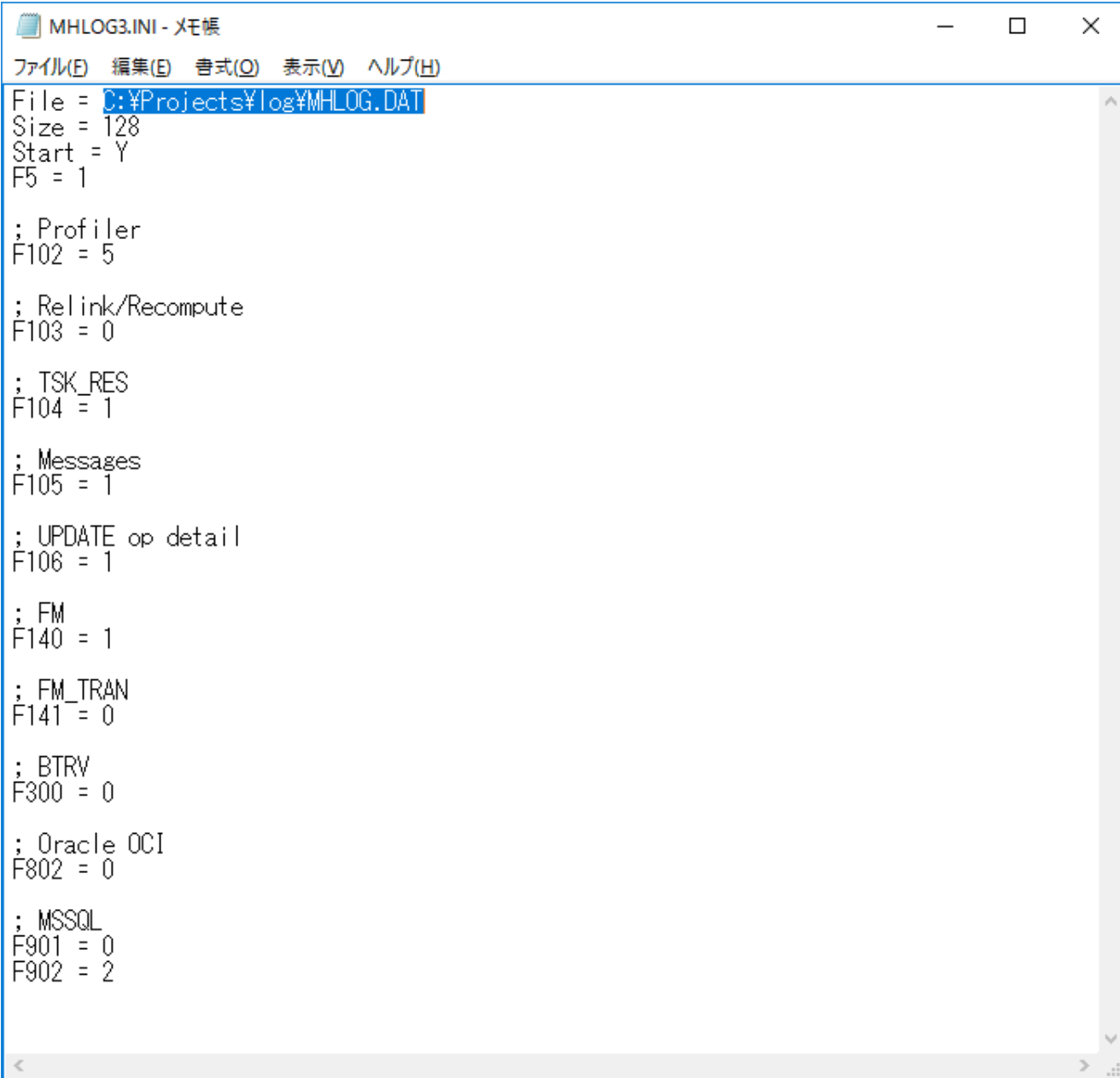
4-4 MHLOG3.INI の設定

1 行目にログファイルの保存先を指定してください。

※ネットワークドライブはご利用いただけません。

3 行目に Y を指定してください。

※Start Y: すぐにログ記録を開始する。N: 開始しない



```
File = C:\Projects\log\MHLOG.DAT
Size = 128
Start = Y
F5 = 1

; Profiler
F102 = 5

; Relink/Recompute
F103 = 0

; TSK_RES
F104 = 1

; Messages
F105 = 1

; UPDATE op detail
F106 = 1

; FM
F140 = 1

; FM_TRAN
F141 = 0

; BTRV
F300 = 0

; Oracle OCI
F802 = 0

; MSSQL
F901 = 0
F902 = 2
```

また、MSSQL の SQL 文のログを取得したくない場合は F901 と F902 の行先頭は「;」を追加してコメントアウトして下さい。

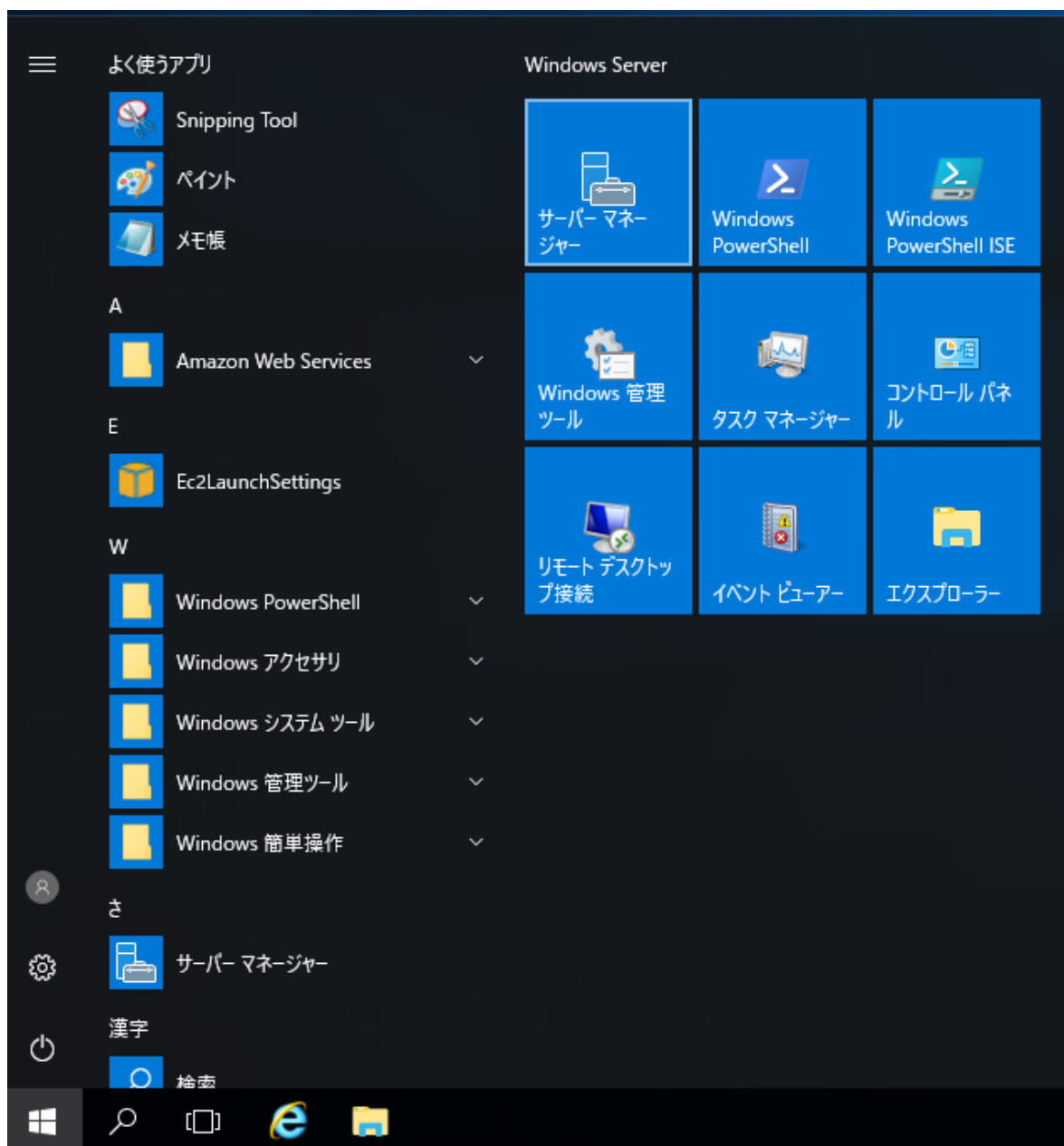
※セキュリティポリシーなどに合わせて設定、運用をお願い致します。

第5章 付録

5-1 IIS のインストール

5-1-1 インストール

Windows Server 2016 にインターネット インフォメーション サービス (IIS) をインストールする手順
サーバー マネージャーを開きます。



[2 役割と機能の追加]をクリックします。

The screenshot shows the Server Manager console window. The title bar reads 'サーバー マネージャー'. The breadcrumb navigation shows 'サーバー マネージャー > ダッシュボード'. The left sidebar contains a 'ダッシュボード' menu with sub-items: 'ローカル サーバー', 'すべてのサーバー', and 'ファイル サービスと記憶域サ...'. The main content area is titled 'サーバー マネージャーへようこそ' and features a numbered list of tasks. Step 1, 'このローカル サーバーの構成', is highlighted with a red circle and contains a sub-step '2 役割と機能の追加'. Below this, there are three summary cards for server groups: 'ファイル サービスと記憶域 サービス' (1), 'ローカル サーバー' (1), and 'すべてのサーバー' (1). Each card lists '管理状態', 'イベント', 'パフォーマンス', and 'BPA 結果'.

サーバー マネージャー

サーバー マネージャー > ダッシュボード

管理(M) ツール(T) 表示(V) ヘルプ(H)

サーバー マネージャーへようこそ

1 このローカル サーバーの構成

- クイック スタート(Q)
- 最新情報(W)
- 詳細情報(L)

2 役割と機能の追加

3 管理するサーバーの追加

4 サーバー グループの作成

5 このサーバーをクラウド サービスに接続する

非表示

役割とサーバー グループ

役割の数: 1 | サーバー グループの数: 1 | サーバーの合計数: 1

グループ名	サーバー数
ファイル サービスと記憶域 サービス	1
ローカル サーバー	1
すべてのサーバー	1

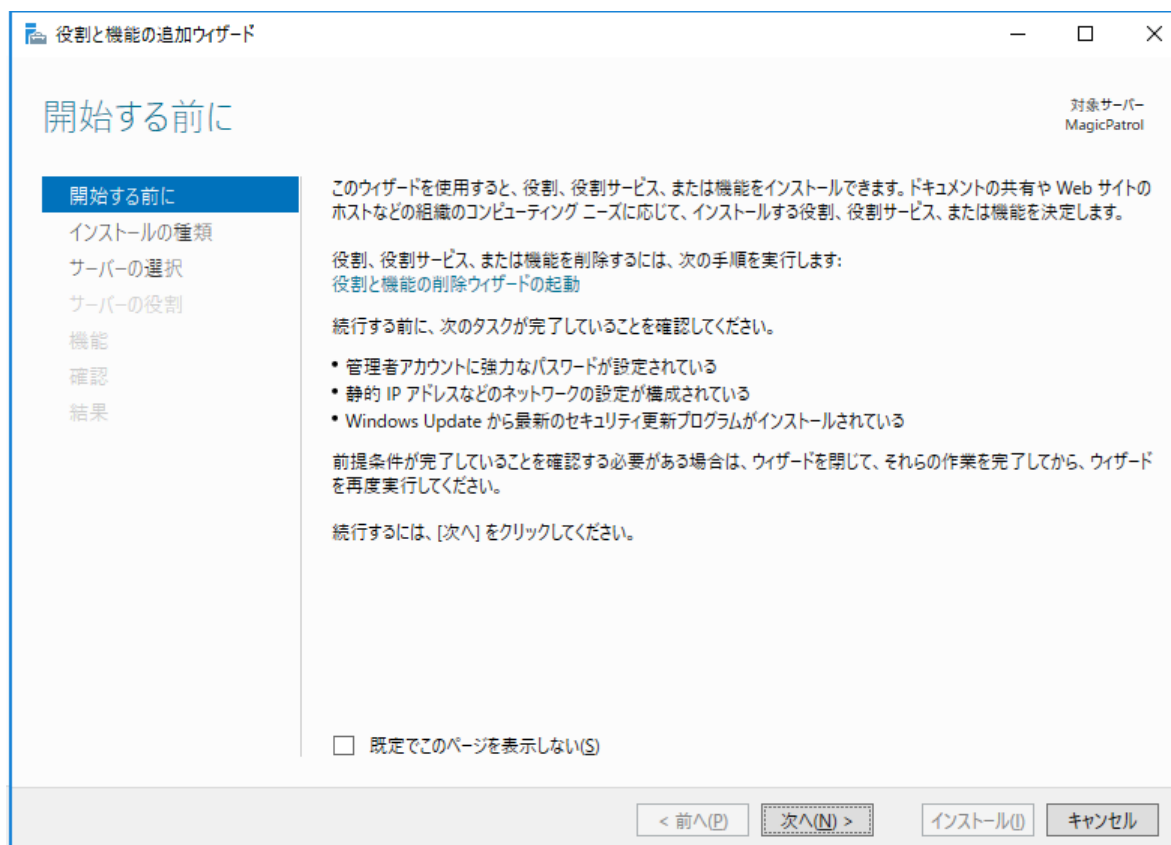
管理状態

イベント

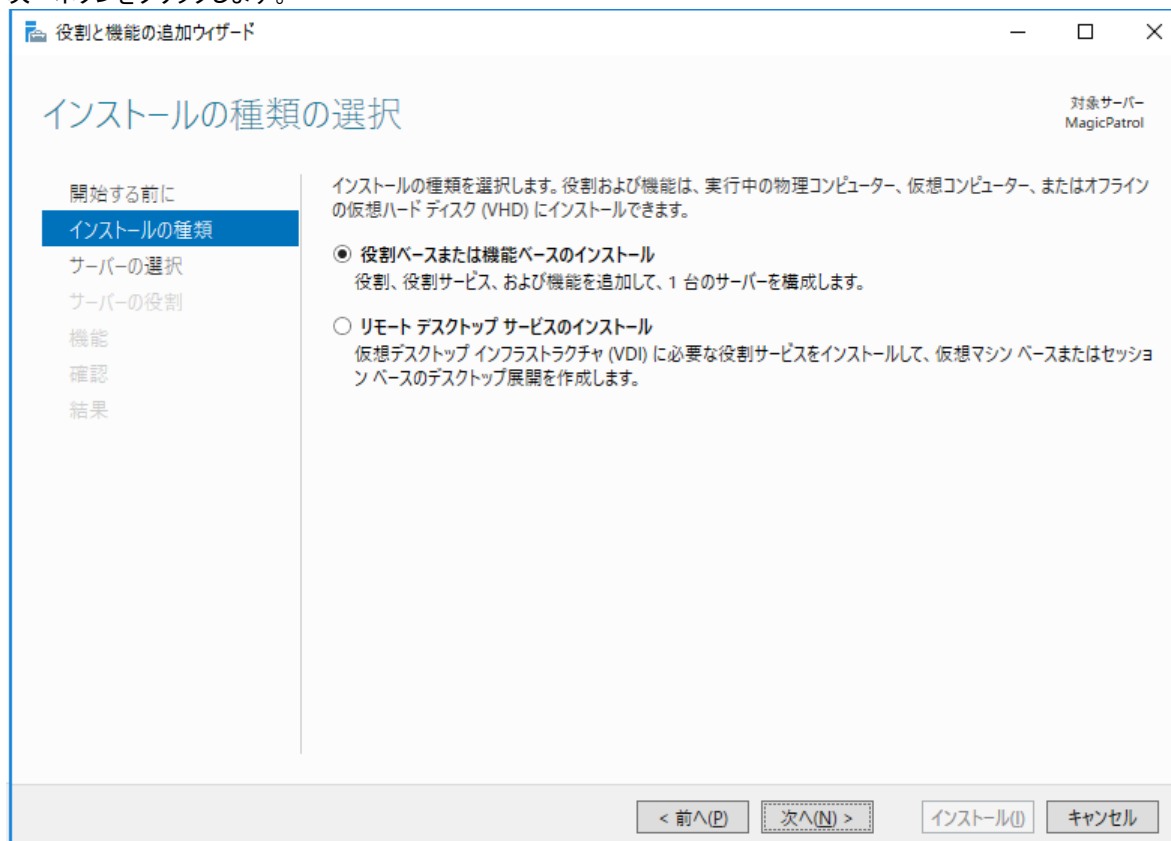
パフォーマンス

BPA 結果

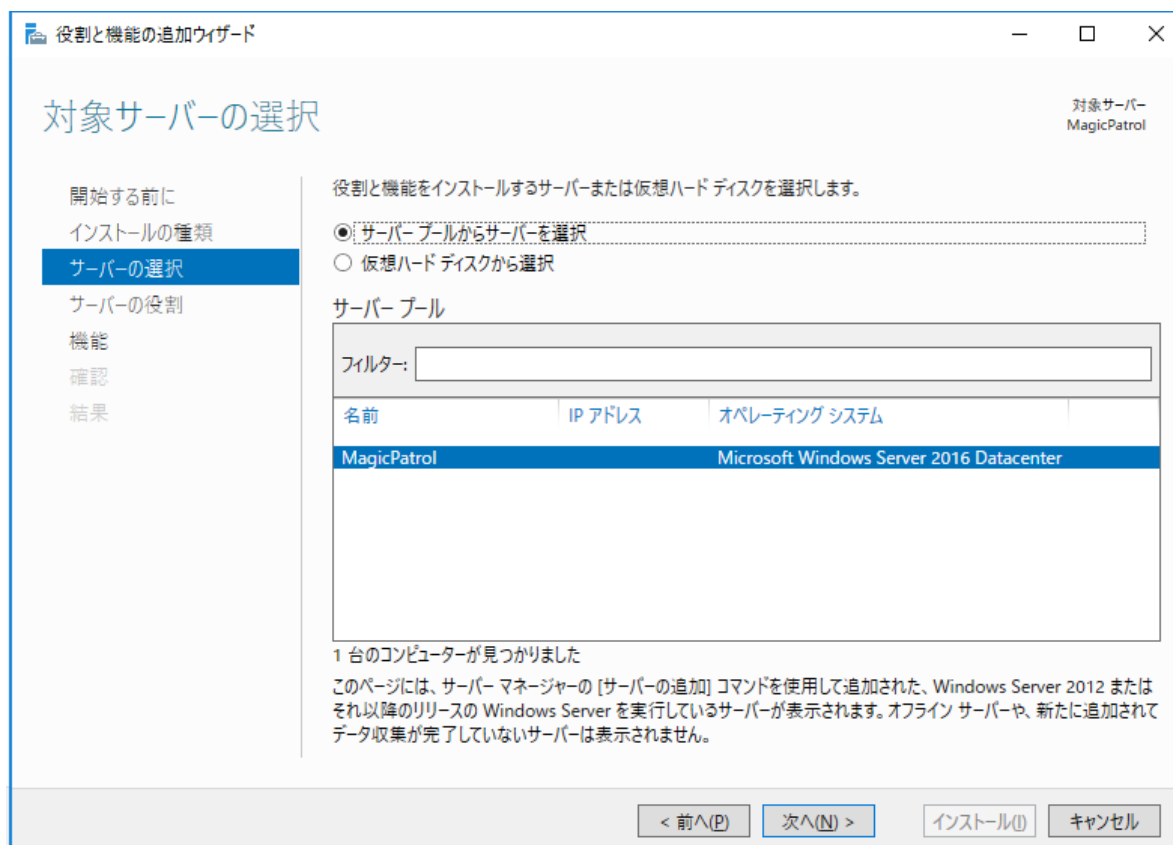
次へボタンをクリックします。



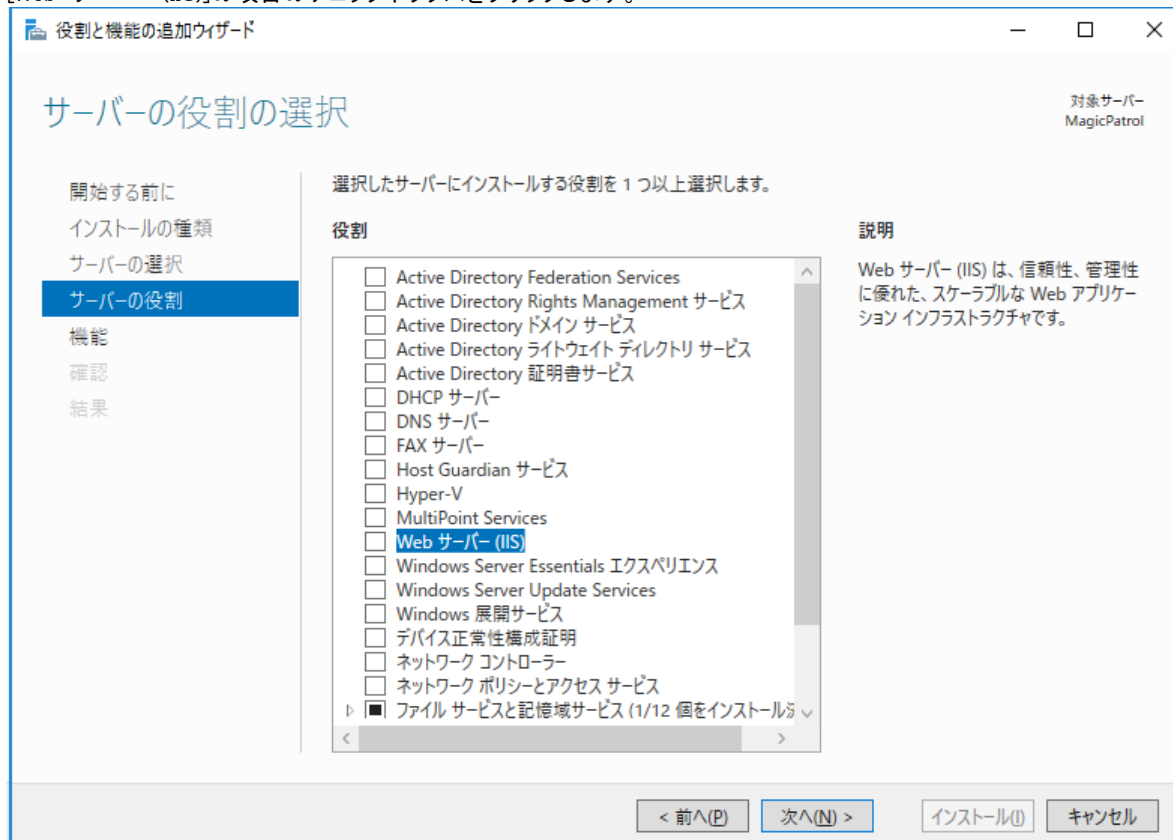
次へボタンをクリックします。



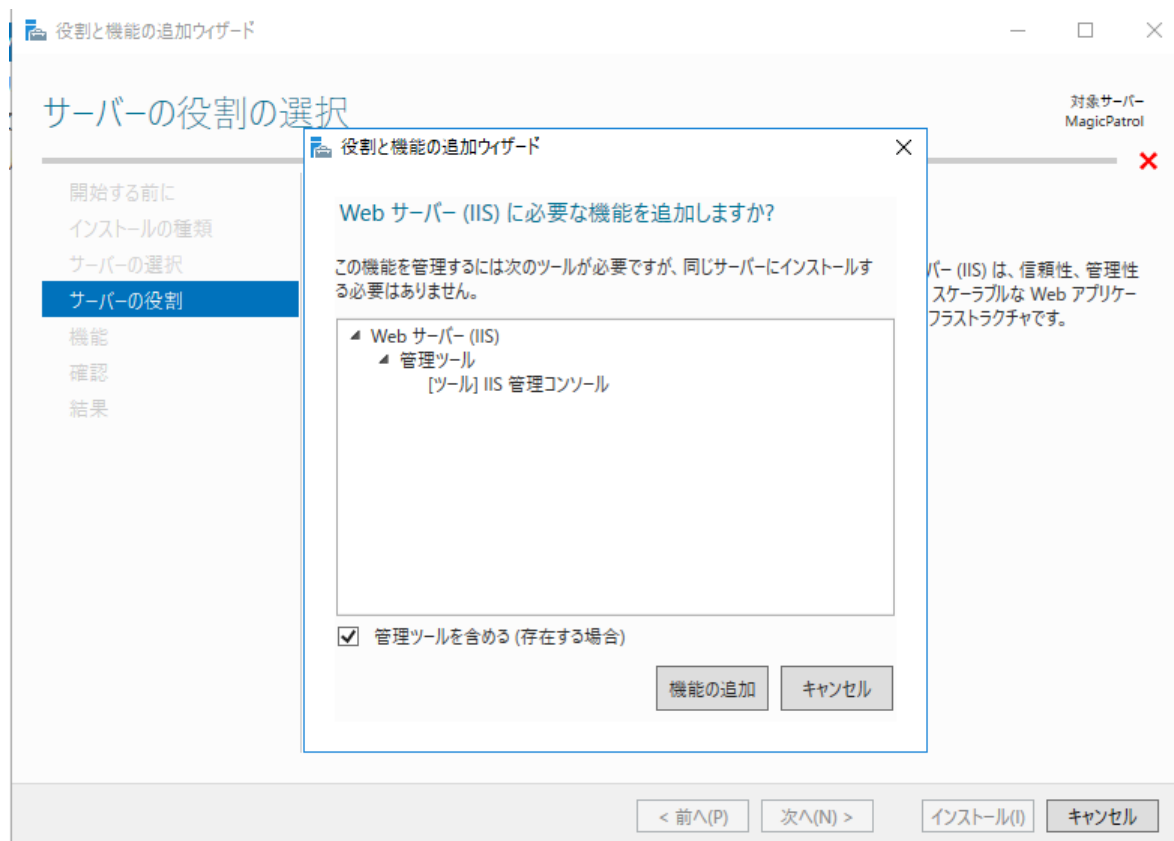
次へボタンをクリックします。



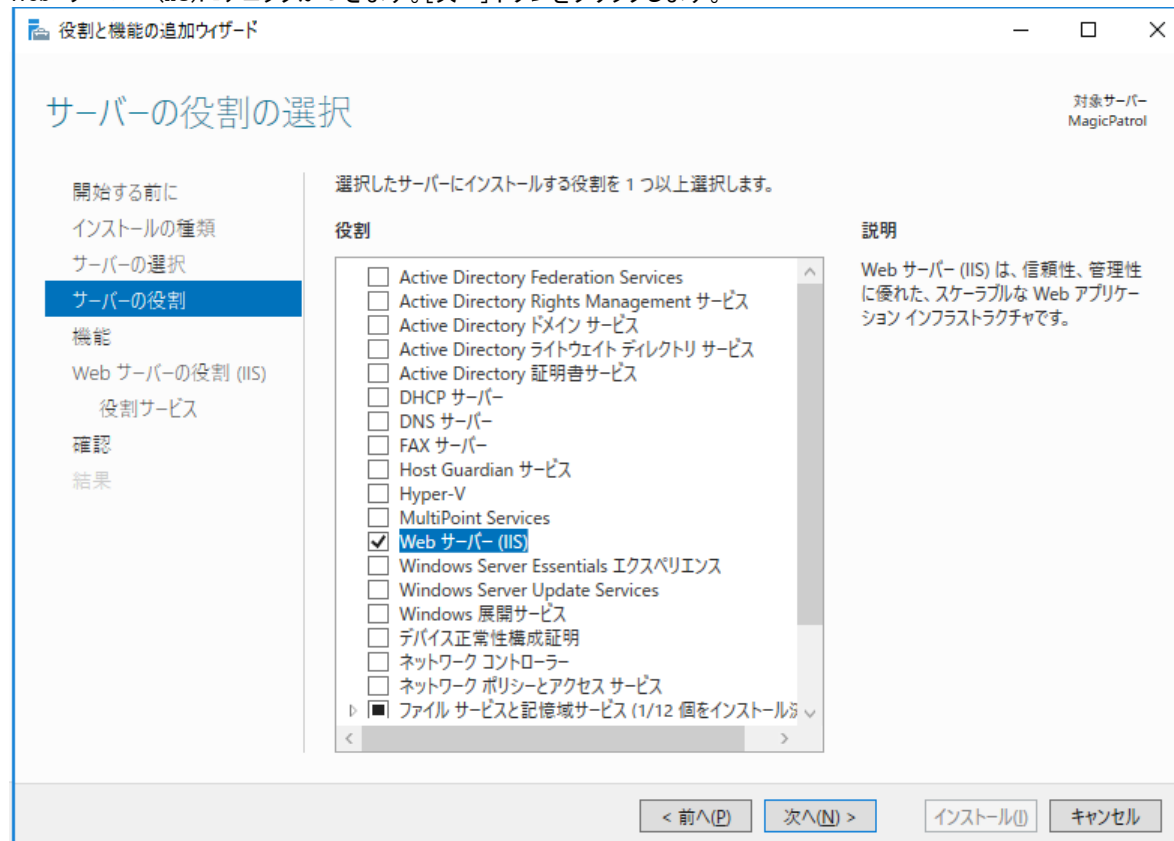
[Web サーバー(IIS)]の項目のチェックボックスをクリックします。



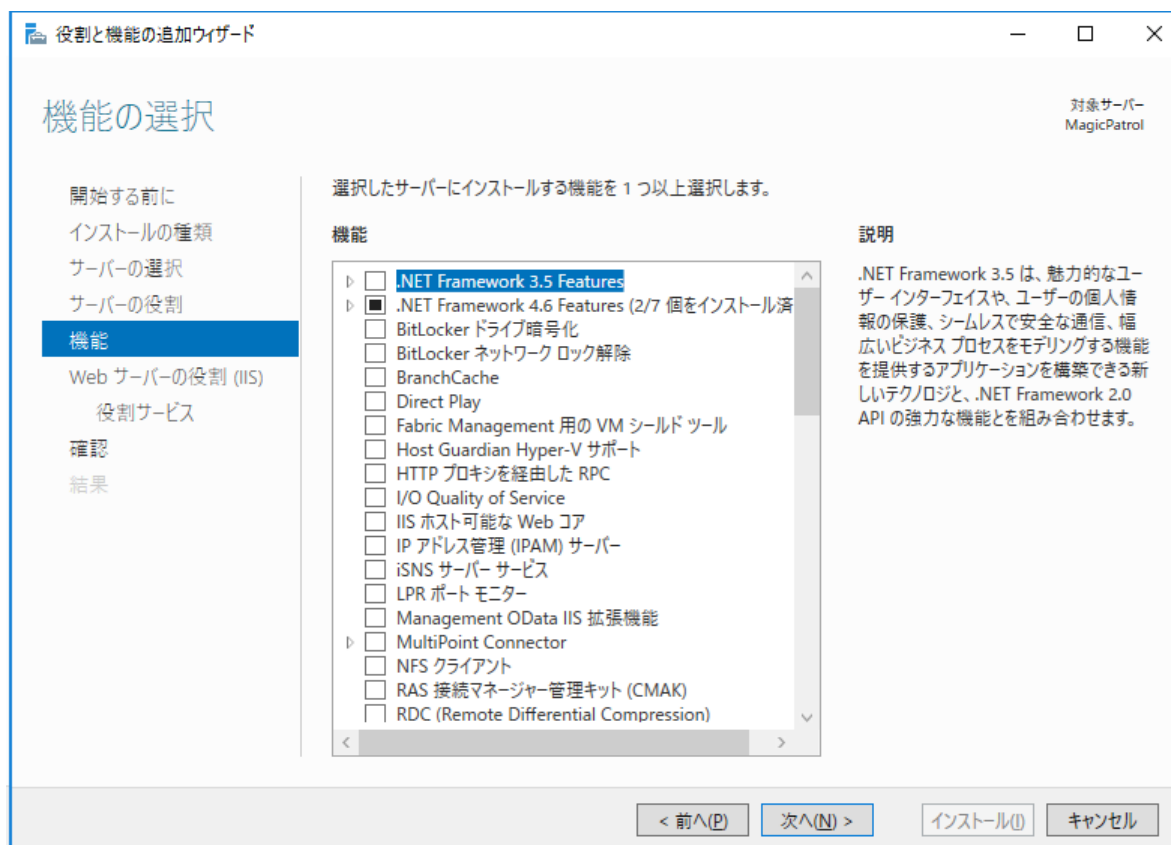
[機能の追加]ボタンをクリックします。



Web サーバー(IIS)にチェックが付きます。[次へ]ボタンをクリックします。



次へボタンをクリックします。



次へボタンをクリックします。



必要な役割サービスにチェックを付け、次へボタンをクリックします。

役割と機能の追加ウィザード
— □ ×

対象サーバー
MagicPatrol

役割サービスの選択

開始する前に

インストールの種類

サーバーの選択

サーバーの役割

機能

Web サーバーの役割 (IIS)

役割サービス

確認

結果

Web サーバー (IIS) のインストールする役割サービスを選択します

役割サービス

- 既定のドキュメント
- 静的なコンテンツ
- HTTP リダイレクト
- WebDAV 発行
- ▲ セキュリティ
 - 要求フィルター
 - IIS クライアント証明書マッピング認証
 - IP およびドメインの制限
 - SSL 証明書の集中サポート
 - URL 承認
 - Windows 認証
 - クライアント証明書マッピング認証
 - ダイジェスト認証
 - 基本認証
- ▲ パフォーマンス
 - 静的なコンテンツの圧縮
 - 動的なコンテンツの圧縮
- ▲ 状態と診断
 - HTTP ログ
 - ODBC ログ
 - カスタム ログ
 - トレース
 - ログ ツール
 - 要求の監視
- ▲ アプリケーション開発
 - .NET 拡張機能 3.5
 - .NET 拡張機能 4.6
 - Application Initialization
 - ASP
 - ASP.NET 3.5
 - ASP.NET 4.6
 - CGI
 - ISAPI フィルター
 - ISAPI 拡張
 - WebSocket プロトコル
 - サーバー側インクルード
- ▲ FTP サーバー
 - FTP サービス
 - FTP 拡張
- ▲ 管理ツール
 - IIS 管理コンソール
 - ▲ IIS 6 管理互換
 - IIS 6 メタベース互換
 - IIS 6 WMI 互換
 - IIS 6 スクリプト ツール
 - IIS 6 管理コンソール
 - IIS 管理スクリプトおよびツール
 - 管理サービス

説明

管理ツールは、IIS 10 を実行する Web サーバーを管理するインフラストラクチャを提供します。IIS ユーザー インターフェイス、コマンドライン ツール、およびスクリプトを使用して Web サーバーを管理できます。また、構成ファイルを直接編集できます。

< 前へ(P)
次へ(N) >
インストール(I)
キャンセル

インストール内容を確認し[インストール]ボタンをクリックします。

役割と機能の追加ウィザード

インストール オプションの確認

対象サーバー
MagicPatrol

開始する前に
 インストールの種類
 サーバーの選択
 サーバーの役割
 機能
 Web サーバーの役割 (IIS)
 役割サービス
確認
 結果

選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[インストール] をクリックしてください。

必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する

オプションの機能 (管理ツールなど) は、自動的に選択されるため、このページに表示されている可能性があります。これらのオプションの機能をインストールしない場合は、[前へ] をクリックして、チェック ボックスをオフにしてください。

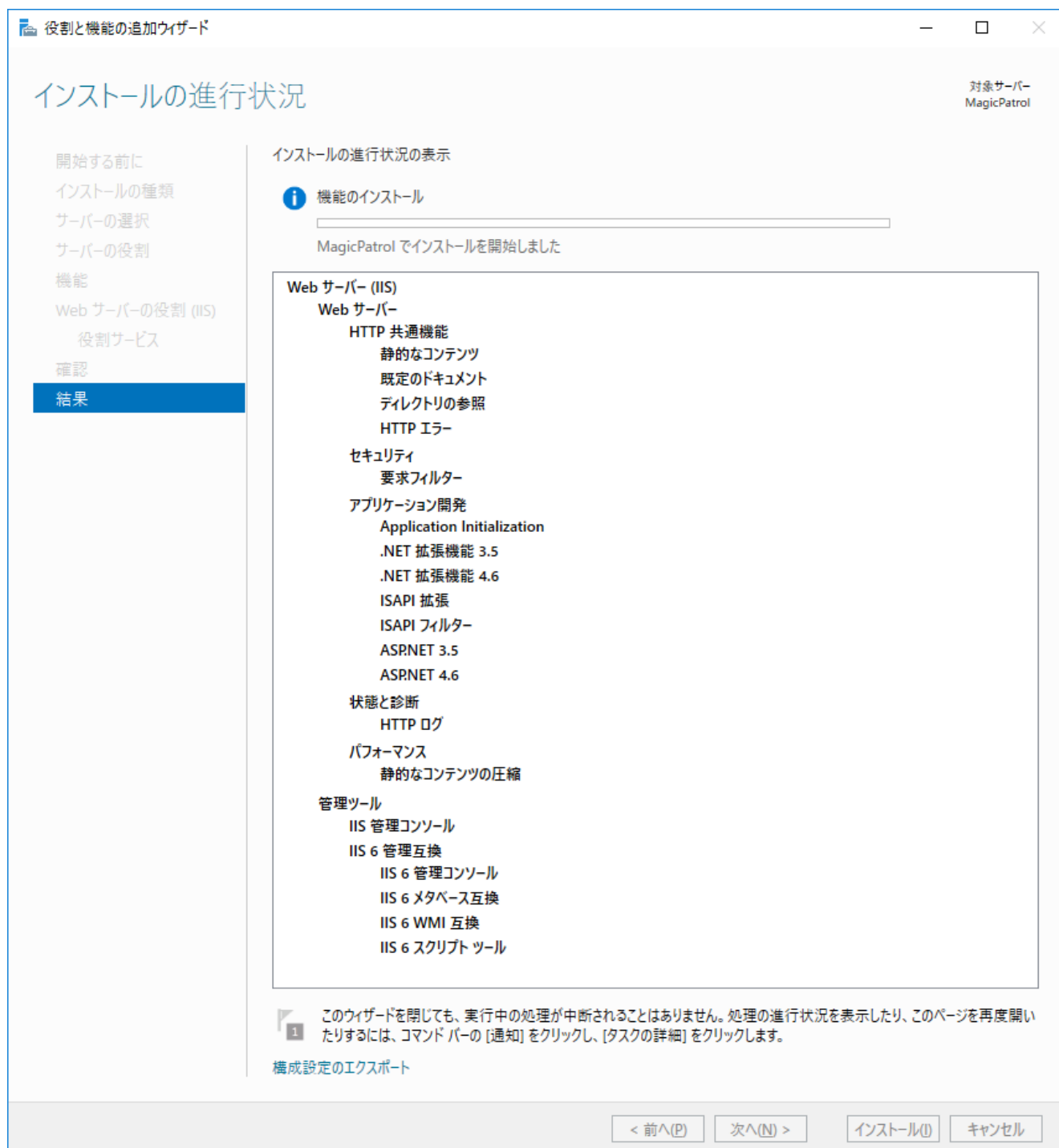
Web サーバー (IIS)

- Web サーバー
 - HTTP 共通機能
 - 静的なコンテンツ
 - 既定のドキュメント
 - ディレクトリの参照
 - HTTP エラー
 - セキュリティ
 - 要求フィルター
 - アプリケーション開発
 - Application Initialization
 - .NET 拡張機能 3.5
 - .NET 拡張機能 4.6
 - ISAPI 拡張
 - ISAPI フィルター
 - ASP.NET 3.5
 - ASP.NET 4.6
 - 状態と診断
 - HTTP ログ
 - パフォーマンス
 - 静的なコンテンツの圧縮
- 管理ツール
 - IIS 管理コンソール
 - IIS 6 管理互換
 - IIS 6 管理コンソール
 - IIS 6 メタベース互換
 - IIS 6 WMI 互換
 - IIS 6 スクリプト ツール

構成設定のエクスポート
代替ソースパスの指定

< 前へ(P) 次へ(N) > インストール(I) キャンセル

インストールが開始されます。



インストールが完了しました。

役割と機能の追加ウィザード

インストールの進行状況

対象サーバー
MagicPatrol

開始する前に
インストールの種類
サーバーの選択
サーバーの役割
機能
Web サーバーの役割 (IIS)
役割サービス
確認
結果

インストールの進行状況の表示

i 機能のインストール

MagicPatrol でインストールが正常に完了しました。

Web サーバー (IIS)

Web サーバー

- HTTP 共通機能
 - 静的なコンテンツ
 - 既定のドキュメント
 - ディレクトリの参照
 - HTTP エラー
- セキュリティ
 - 要求フィルター
- アプリケーション開発
 - Application Initialization
 - .NET 拡張機能 3.5
 - .NET 拡張機能 4.6
 - ISAPI 拡張
 - ISAPI フィルター
 - ASP.NET 3.5
 - ASP.NET 4.6
- 状態と診断
 - HTTP ログ
- パフォーマンス
 - 静的なコンテンツの圧縮

管理ツール

- IIS 管理コンソール
- IIS 6 管理互換
 - IIS 6 管理コンソール
 - IIS 6 メタベース互換
 - IIS 6 WMI 互換
 - IIS 6 スクリプト ツール

i このウィザードを開いても、実行中の処理が中断されることはありません。処理の進行状況を表示したり、このページを再度開いたりするには、コマンド バーの [通知] をクリックし、[タスクの詳細] をクリックします。

構成設定のエクスポート

< 前へ(P) 次へ(N) > 閉じる キャンセル

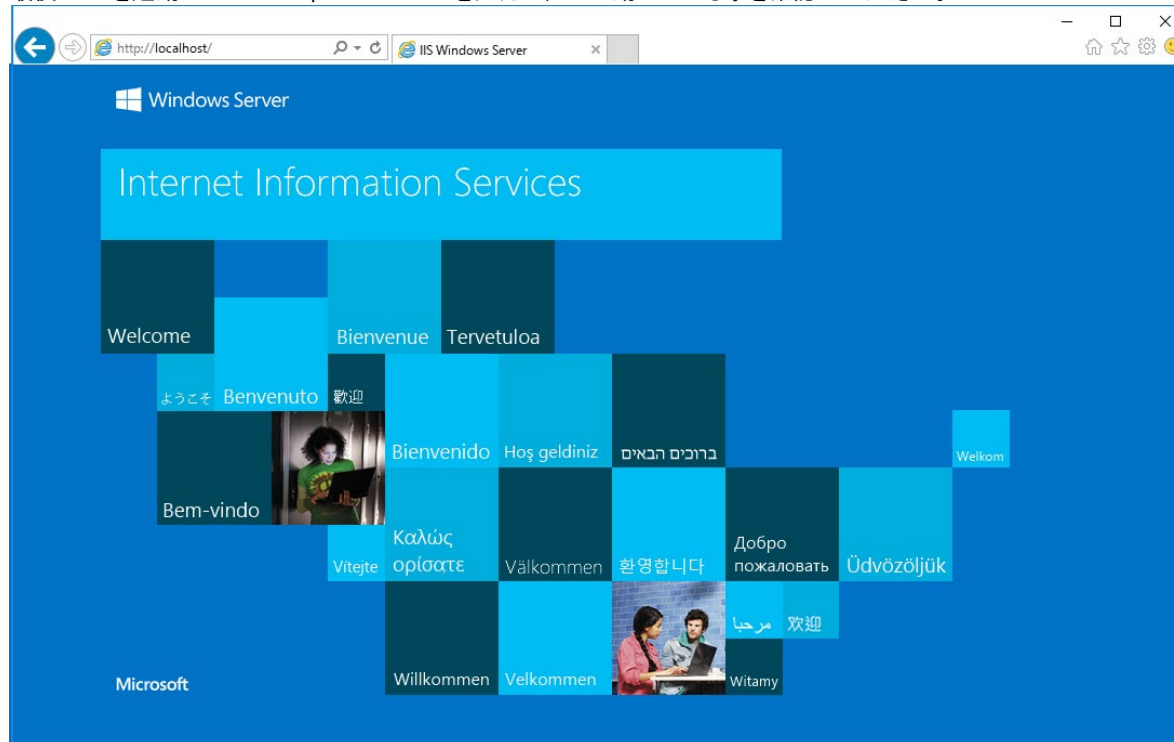
5-1-2 サーバー マネージャーの確認

インストールが完了すると、[サーバー マネージャー]のウィンドウに[IIS]の項目が追加されます。



5-1-3 IIS の確認

最後に IE を起動し URL に `http://localhost/` を入力し、IIS が動いている事を確認してください。



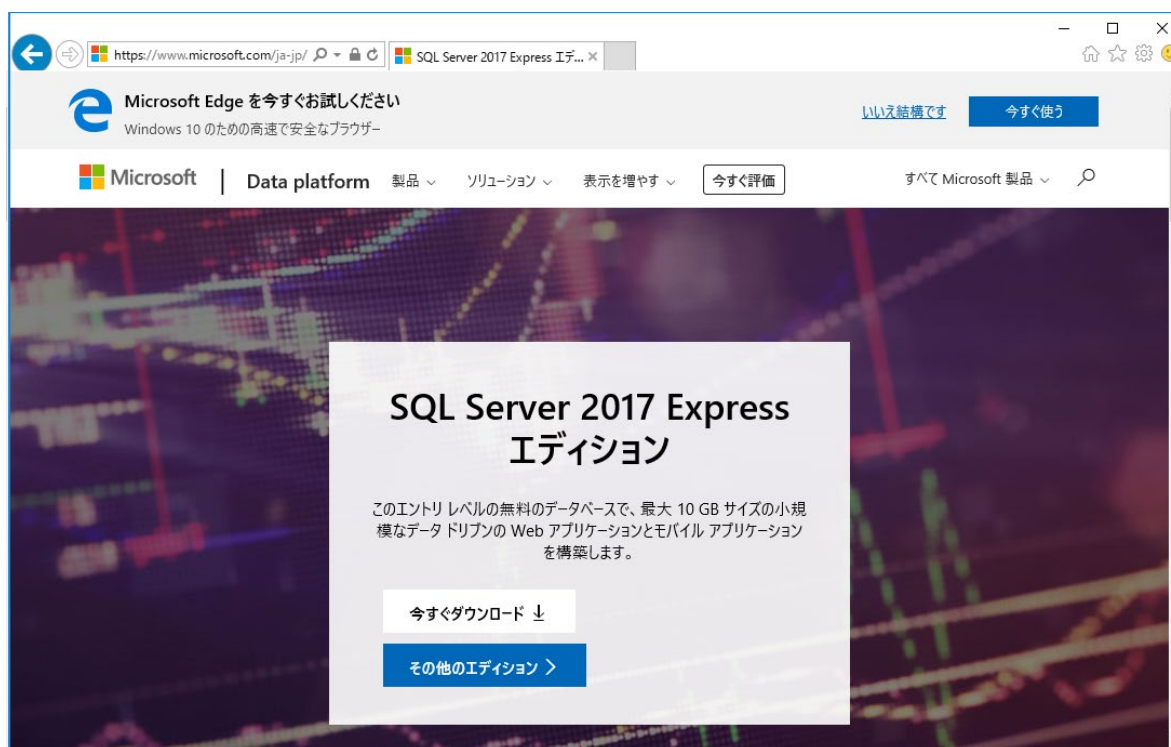
5-2 SQL Server 2017 express のインストール

5-2-1 SQL Server Express のダウンロード

Microsoft のサイトから SQL Server 2017 Express のダウンロードサイトにアクセスしてください。

(例) <https://www.microsoft.com/ja-jp/sql-server/sql-server-editions-express>

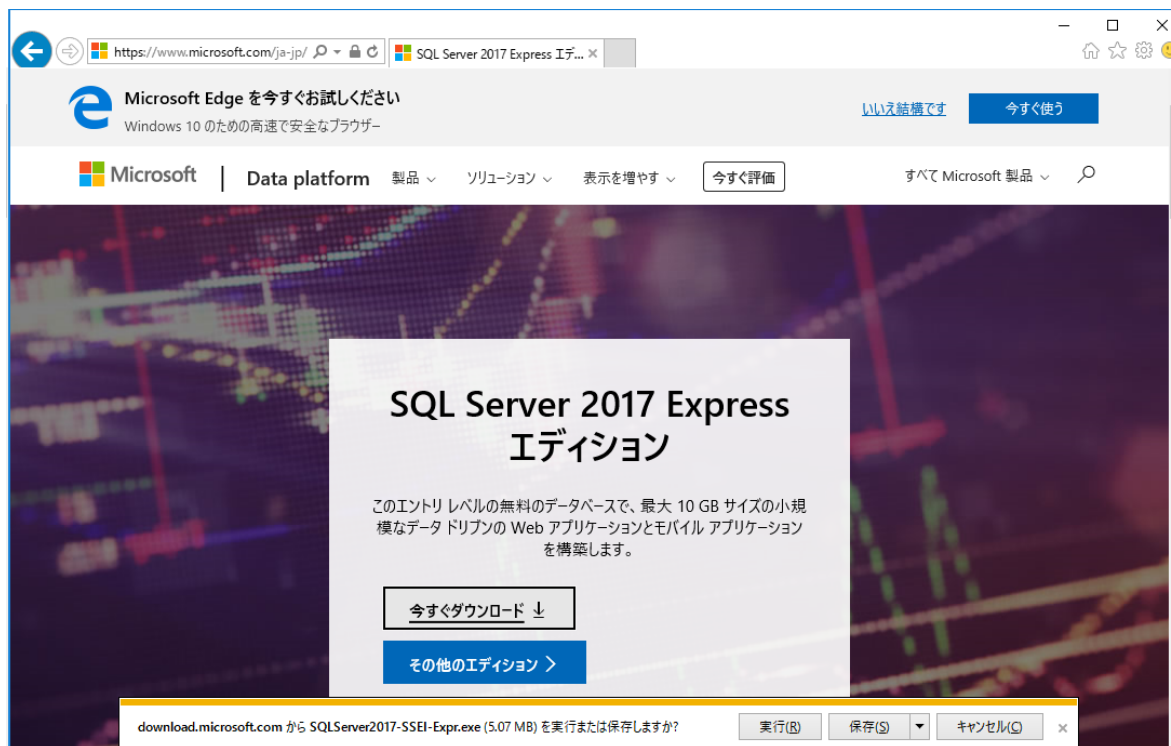
今すぐダウンロードをクリックします。



5-2-2 SQL Server Express のインストール

ダウンロードで実行ボタンをクリックします。

※ファイルをダウンロード後に実行してインストーラーを起動しても良いです。



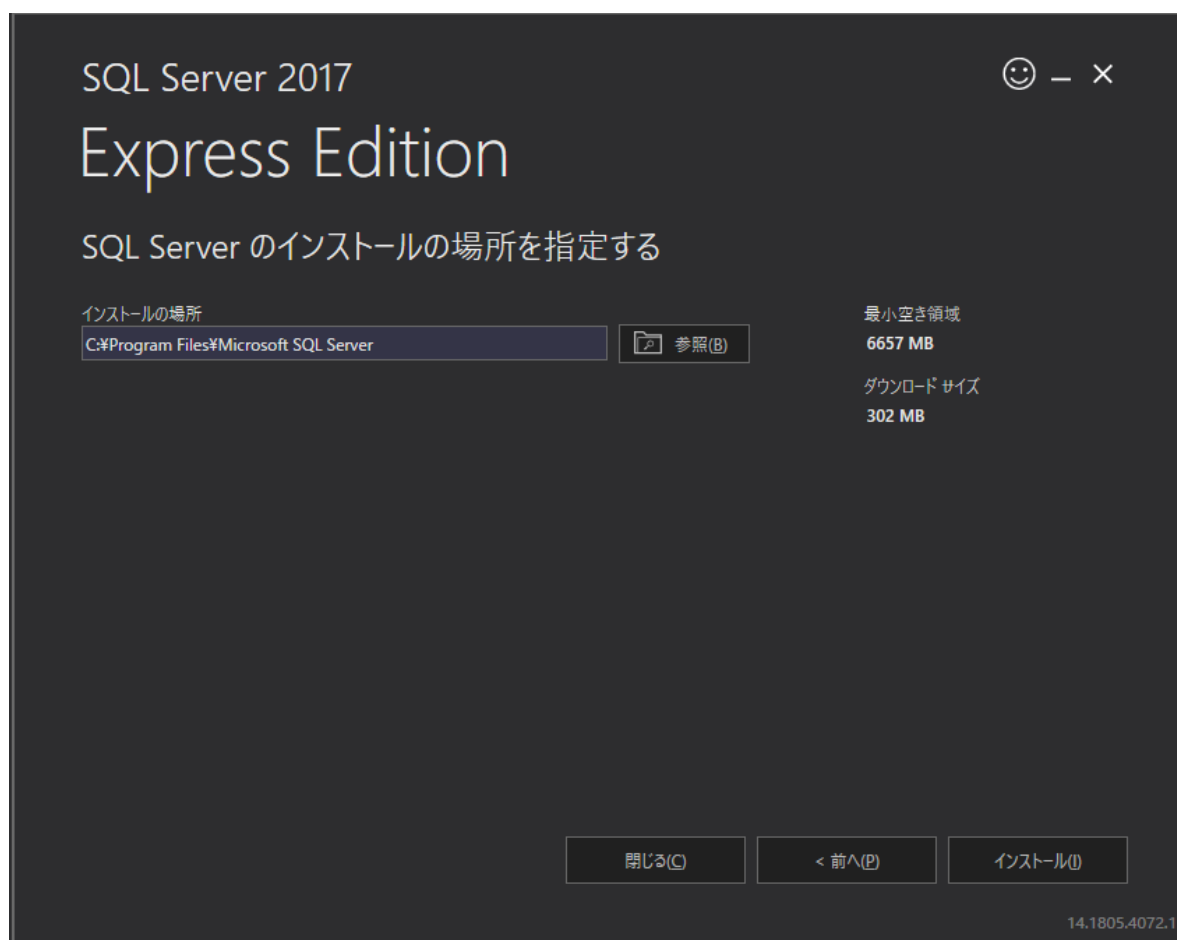
基本 (B) をクリックします。



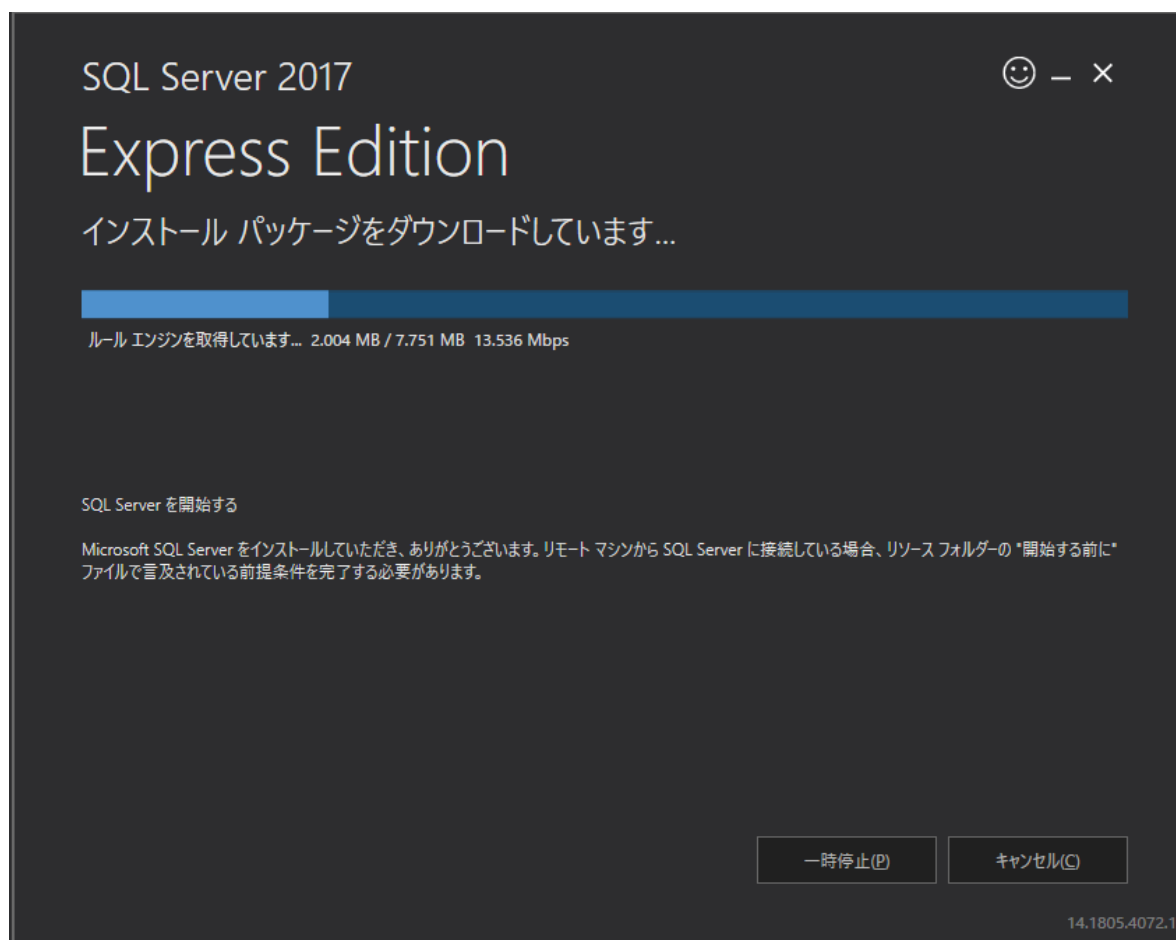
ライセンス条項を確認し、同意するをクリックします。



インストール(I)をクリックします。



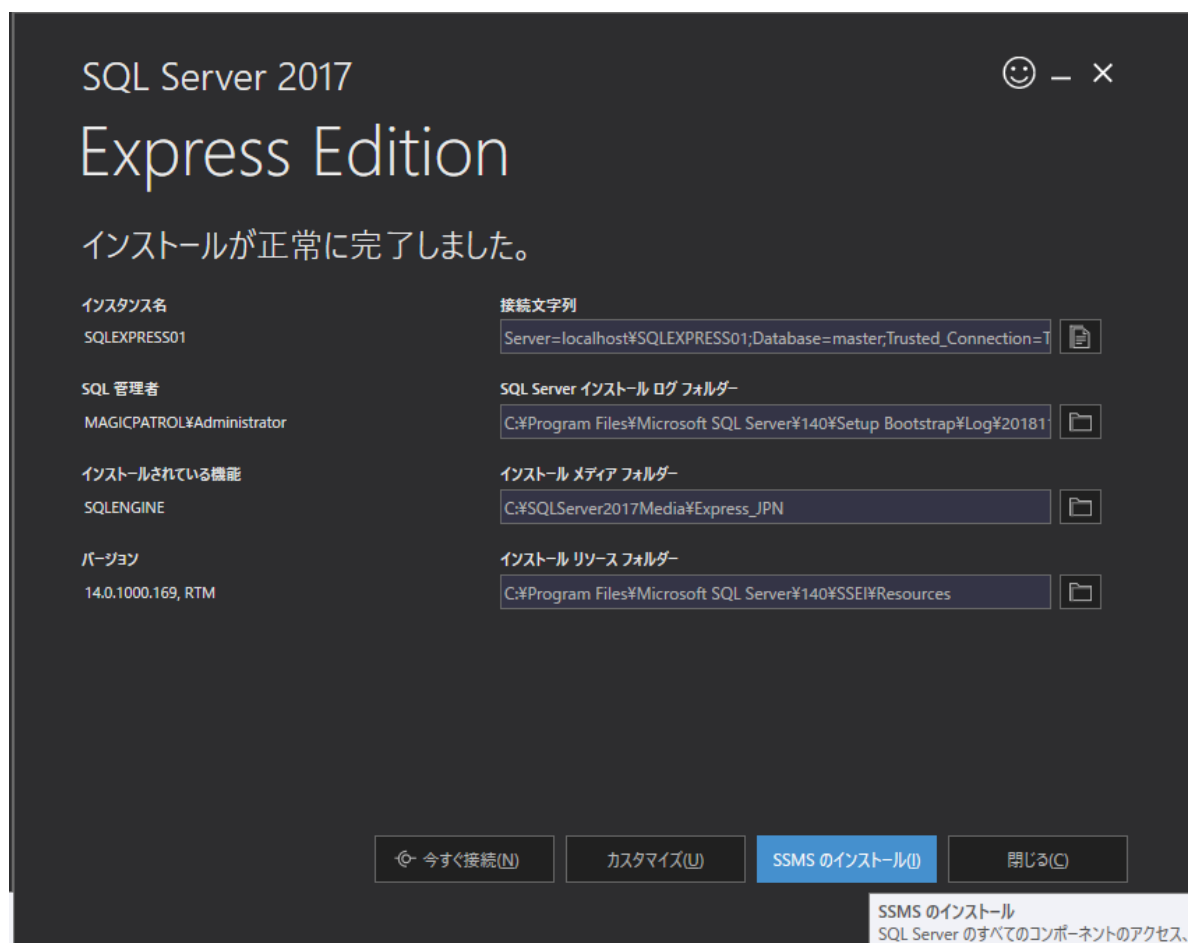
インストールが開始されます、インストールが完了するまで暫くお待ちください。



SQL Server 2017 Express のインストールが終わりました。

5-2-3 SSMS(SQL Server Management Studio)のダウンロード

SSMS のインストール(I)をクリックします。



SQL Server Management Studio のダウンロードをクリックします。

SQL Server Management Studio (SSMS) 2017 のドキュメントページ。左側のナビゲーションメニューには「SSMS のダウンロード」が選択されています。メインコンテンツには、SSMS の用途と特徴、SSMS 17.9 のダウンロードリンク、および SSMS 18.0 のプレビューに関する情報が提供されています。

SQL Server 2017

Filter by title

- SSMS とは
- ▼ **SSMS のダウンロード**
 - SSMS の変更ログと以前のリリース
 - リリース ノート
 - 英語以外の SSMS のインストール
 - SQL Server PowerShell モジュールのインストール
 - チュートリアル +
 - SQL Server エージェント +
 - スクリプトの作成 +
 - F1 ヘルプ +
 - メニュー ヘルプ +
 - オブジェクト エクスプローラー +
 - ソリューション エクスプローラー +
 - テンプレート +
 - Visual Database Tools +
 - サーバーの登録 +
 - BI 用 SSMS の概要
 - メニューとショートカット キーのカスタマイズ

SQL Server Management Studio (SSMS) には、SQL のインスタンスを構成、監視、および管理するためのツールが備わっています。SSMS を使用して、アプリケーションで使われるデータ層コンポーネントを配置、監視、アップグレードしたり、クエリとスクリプトを作成したりすることもできます。

SQL Server Management Studio (SSMS) を使用すると、データベースとデータウェアハウスがローカル コンピューターやクラウドなど、どこにあっても、クエリ、設計、および管理ができます。

SSMS は無料です。

SSMS 17.9 は現在 SSMS の一般公開 (GA) バージョンである

- SQL Server Management Studio 17.9 のダウンロード
- SQL Server Management Studio 17.9 アップグレード パッケージのダウンロード (17.x から 17.9 へのアップグレード)

SSMS 17.9 について詳しくは、[SSMS 17.9 の変更ログ](#)に関するページをご覧ください。

SSMS 18.0 (プレビュー)

SSMS 18.0 パブリックプレビュー 4 を利用できます。これは Studio の最新世代であり、SQL Server 2019 プレビュー をサポートしています。

- SQL Server Management Studio 18.0 (プレビュー 4) のダウンロード

品質向上にご協力ください。
ぜひお客様のアイデアをお聞かせください。Microsoft はあらゆる言語でのフィードバックを歓迎しております。

送信

5-2-4 SSMS(SQL Server Management Studio)のインストール

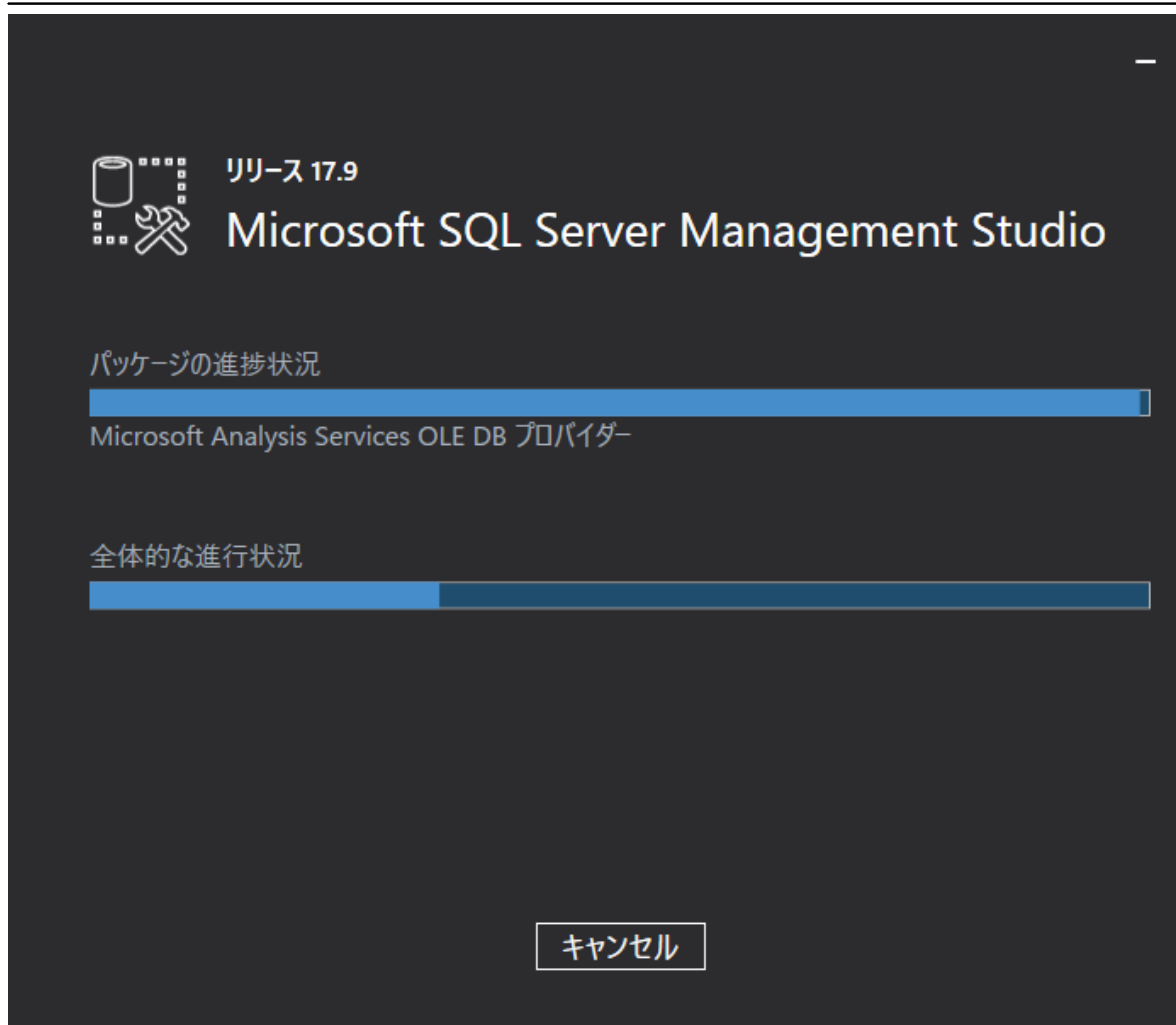
ダウンロードで実行ボタンをクリックします。

※ファイルをダウンロード後に実行してインストーラーを起動しても良いです。

インストールをクリックします。



インストールが開始されます、インストールが完了するまで暫くお待ちください。



SSMS(SQLServer Management Studio)をインストールが終わりました。



リリース 17.9

Microsoft SQL Server Management Studio

セットアップが完了しました

指定されたすべてのコンポーネントが正常にインストールされました。

閉じる

5-3 環境設定ファイル MagicPatrol.ini のご説明

MagicPatrol.ini の詳細設定の説明です。

MagicPatrol のインストールフォルダーの¥Project¥INI¥に MagicPatrol11.ini があります。

ファイル MagicPatrol11.ini を編集ツールで開いて修正が可能です、内容設定は以下の通りです。

① ■ライセンスファイルの関連設定

LicenseFile = *C:¥MagicPatrol¥RIA Server 3.2¥license.dat -----ライセンスファイルのフルパスです。

LicenseName = MGRIA13 -----リッチサーバー用のライセンス名です。

② ■MagicPatrol のライセンス番号設定

[MAGIC_LOGICAL_NAMES]MagicPatrolLicense = XXXXXXXXX-----MagicPatrol ライセンス(※シリアル番号)。

③ ■アラートを送信するメールサーバ設定

[MAGIC_LOGICAL_NAMES]Mail_Server=*localhost -----サーバ名です。

[MAGIC_LOGICAL_NAMES]Mail_From=*MagicPatrol@hogehoge.com ---アラートメールの From(送信元)のメールアドレスです。

[MAGIC_LOGICAL_NAMES]Mail_ID=* -----サーバへのユーザ ID です。

[MAGIC_LOGICAL_NAMES] Mail_PASSWD=* -----サーバへのパスワードです。

※先頭には「*」が付けてください。

④ ■MagicPatrol 実行するにはデータベース関連設定

[MAGIC_LOGICAL_NAMES]DBServer = *DESKTOP-VJMHR4Q ---データベースサーバです。

[MAGIC_LOGICAL_NAMES]DBName = MPATROL11 -----データベース名前、変更しないでください。

[MAGIC_LOGICAL_NAMES]DBUser = sa -----データベースへ接続用ユーザID です。

[MAGIC_LOGICAL_NAMES]DBPassword = -----データベースへ接続用パスワードです。

⑤ ■MagicPatrol のアプリケーション関連設定

[MAGIC_LOGICAL_NAMES]AppTitle = *MagicPatrol11 -----タイトルバーに表示される名前です。

[MAGIC_LOGICAL_NAMES]MagicPatrolDir = *C:¥MagicPatrol¥Project¥ -- MagicPatrol のインストールフォルダーです。

[MAGIC_LOGICAL_NAMES]FLWMemo=*Memo -----操作ログ機能画面でメモ欄の表示タイトルです。

※ini ファイルの修正後は必ず Windows サービス(MP_Broker32)を再起動してください。

(再起動を実施しないと変更が反映されません。)